

# 第155回 定時株主総会 招集ご通知

**開催日時** | 2021年5月25日（火曜日）  
午前10時（受付開始：午前9時15分）

**開催場所** | 東京都中央区築地4丁目1番1号  
東劇ビル内 東劇

**決議事項** | 第1号議案 取締役17名選任の件  
第2号議案 監査役1名選任の件  
第3号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

## 目次

|            |    |
|------------|----|
| ■ 招集ご通知    | 1  |
| (提供書面)     |    |
| ■ 事業報告     | 5  |
| ■ 連結計算書類   | 31 |
| ■ 計算書類     | 34 |
| ■ 監査報告     | 37 |
| ■ 株主総会参考書類 | 42 |

・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、株主総会当日のご来場はお控えいただき、書面またはインターネット等による事前の議決権行使のご活用をお願い申し上げます。

・株主総会にご出席された株主様へのお土産は、ご用意しておりません。  
代替として、議決権行使をいただいた株主様には株主優待ポイントを付与させていただきます。

※上記の新型コロナウイルスに関する各内容の詳細は当社下記ウェブサイトをご参照ください。  
<https://www.shochiku.co.jp/company/ir/publicnotice/>

(証券コード9601)  
2021年5月7日

株主各位

東京都中央区築地四丁目1番1号  
**松竹株式会社**  
代表取締役社長 迫本 淳一

## 第155回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社第155回定時株主総会を次頁により開催いたしますので、ご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合は、以下のいずれかの方法によって議決権を行使することができますので、お手数ながら後記「株主総会参考書類」をご検討いただき、**2021年5月24日（月曜日）午後6時までに議決権を行使**していただきますようお願い申し上げます。

敬具

### 議決権行使のご案内



書面（郵送）により議決権を行使される方へ

▶ 同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、上記の行使期限までに到着するようご返送ください。



インターネット等により議決権を行使される方へ

▶ 4ページに記載の「インターネット等による議決権行使について」をご確認のうえ、**当社の指定する議決権行使サイト** (<https://evote.tr.mufig.jp/>) にアクセスしていただき、画面の案内に従い、上記の行使期限までに賛否をご入力ください。

## 記

1. 日 時 2021年5月25日（火曜日）午前10時（受付開始 午前9時15分）

2. 場 所 東京都中央区築地4丁目1番1号

東劇ビル内 東劇

（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。）

3. 目 的

## 報告事項

1. 第155期（2020年3月1日から2021年2月28日まで）  
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人および監査役会の  
連結計算書類監査結果報告の件
2. 第155期（2020年3月1日から2021年2月28日まで）  
計算書類報告の件

## 決議事項

- 第1号議案 取締役17名選任の件  
第2号議案 監査役1名選任の件  
第3号議案 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

以上

## インターネットによる開示について

1. 当社は、法令並びに当社定款の規定に基づき、次に掲げる事項をインターネット上の当社ウェブサイトに掲載しておりますので、本招集ご通知には記載しておりません。従って、本招集ご通知の提供書面は、監査報告書を作成するに際し、監査役および会計監査人が監査をした対象の一部であります。
  - ①連結計算書類の連結注記表
  - ②計算書類の個別注記表
2. 本招集ご通知の事業報告・連結計算書類・計算書類並びに株主総会参考書類の記載事項を修正する必要がある場合は、修正後の事項をインターネット上の当社ウェブサイトに掲載させていただきます。

当社ウェブサイト

<https://www.shochiku.co.jp/company/ir/stockholder/>

# 議決権行使についてのご案内

議決権は、以下の3つの方法により行使いただくことができます。



## 株主総会にご出席される場合

同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出ください。

また、資源節約のため、本招集ご通知をご持参くださいますようお願い申し上げます。

日時：2021年5月25日（火曜日）午前10時（受付開始：午前9時15分）

場所：東劇ビル内 東劇

東京都中央区築地4丁目1番1号

（末尾の「株主総会会場ご案内図」をご参照ください。）



## 書面（郵送）による議決権行使の場合

同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示のうえ、切手を貼らずにご投函ください。

行使期限：2021年5月24日（月曜日）午後6時到着分まで

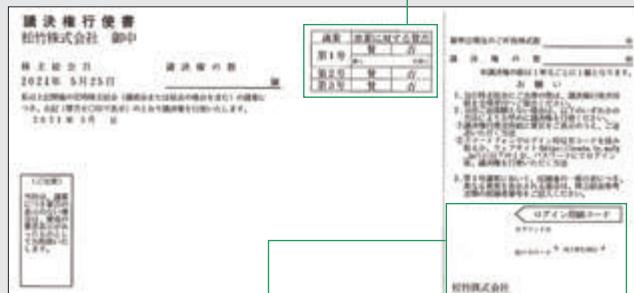


## インターネット等による議決権行使の場合

インターネットにより議決権を行使される場合は、パソコン、スマートフォンまたは携帯電話から当社の指定する議決権行使サイトにアクセスし、画面の案内に従ってご行使くださいますようお願い申し上げます。

行使期限：2021年5月24日（月曜日）午後6時まで受け付けいたします。

### 議決権行使書のご記入方法



インターネットによる議決権行使に必要な、「QRコード」、「ログインID」と「仮パスワード」が記載されています。

※当日ご出席の場合は、議決権行使書用紙の郵送またはインターネットによる議決権行使のお手続きはいずれも不要です。

こちらに、各議案の賛否をご表示ください。

#### 第1号議案

▷全員賛成の場合：「賛」の欄に○印

▷全員反対の場合：「否」の欄に○印

▷一部の候補者に：「賛」の欄に○印をし、反対される候補者  
反対される場合 者の番号を（ ）内にご記入ください。

#### 第2号議案、第3号議案

▷賛成の場合：「賛」の欄に○印

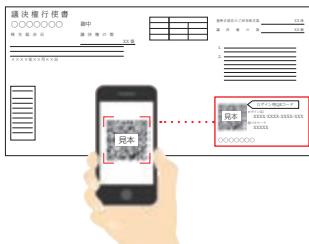
▷反対の場合：「否」の欄に○印

# インターネット等による議決権行使について

## QRコードを読み取る方法

議決権行使書副票に記載のログインID、仮パスワードを入力することなく、議決権行使サイトにログインすることができます。

- 1 議決権行使書副票（右側）に記載のQRコードを読み取ってください。



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

- 2 以降は、画面の案内に従って賛否をご入力ください。



**QRコードを用いたログインは1回に限り可能です。**

再行使する場合、もしくはQRコードを用いずに議決権を行使する場合は、右の「ログインID・仮パスワードを入力する方法」をご確認ください。

## ログインID・仮パスワードを入力する方法

議決権行使サイト <https://evote.tr.mufg.jp/>

- 1 議決権行使サイトにアクセスしてください。
- 2 議決権行使書用紙に記載された「ログインID・仮パスワード」を入力しクリック



「ログインID・仮パスワード」を入力  
「ログイン」をクリック

- 3 新しいパスワードを登録する



「新しいパスワード」を入力  
「送信」をクリック

- 4 以降は、画面の案内に従って賛否をご入力ください。

- ※ 午前2時から午前5時までは、議決権行使サイトの保守・点検のため接続いたくことができません。
- ※ 書面（郵送）とインターネットにより重複して議決権を行使された場合は、インターネットによる議決権行使の内容を有効として取扱わせていただきます。
- ※ インターネットにより複数回にわたり議決権を行使された場合は、最後に行使された内容を有効とさせていただきます。
- ※ インターネットのご利用環境、ご加入のサービスやご使用の機種によっては、議決権行使サイトが利用できない場合があります。
- ※ 議決権行使サイトへのアクセスに際して発生するインターネット接続料、通信費等は株主さまのご負担となります。

システム等に関する  
お問い合わせ

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部（ヘルプデスク）  
フリーダイヤル **0120-173-027** 9：00～21：00、通話料無料

※機関投資家の皆さまへ

機関投資家の皆さまは、株式会社ICJが運営する「議決権電子行使プラットフォーム」をご利用いただくことが可能です。

# ▶ (提供書面) 事業報告 (2020年3月1日から2021年2月28日まで)

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過および成果

当連結会計年度におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）の感染拡大に伴い、経済活動や個人消費が低迷し、Go Toキャンペーンや助成金等の施策は行われたものの、本格的な回復には至らず、外食産業や観光業等を中心に、極めて厳しい状況となりました。

映画業界は、映画館の営業休止等の影響を受け、興行収入が1,432億8,500万円（前年比54.9%）、入場人員が1億613万人（前年比54.5%）となり、興行収入での発表を始めた2000年以降の最低記録となりました。邦画・洋画の構成比は、邦画が76.3%、洋画が23.7%と、邦画の構成比が70%を超えました。洋画大作の公開延期や、『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』が日本歴代興行収入の新記録を更新する等、邦画のシェアが上昇しました。全国のスクリーン数は前年より33スクリーン増えて3,616スクリーンとなりました。

演劇業界は、感染症の影響を受け、公演の中止、自粛等の休演期間が明けた後、感染予防を徹底し、日程、上演時間等も工夫しながら興行を再開いたしました。その中で、引き続きお客様の嗜好に合わせた公演を実現し、観客動員を維持しながら、動画配信事業等新たな販路を開拓していくことが課題となりました。

不動産業界は、感染症の拡大によりテレワークが浸透し、都心部のオフィスを縮小させる動きが進んでいます。また、外食産業や観光業等の生活関連業では、緊急事態宣言期間中に営業時間の短縮や宿泊予約のキャンセル発生等により、期間を通して店舗売上や稼働率が大きく下回っていることから賃料負担が厳しい状況が続いております。

このような状況下、当社グループはより一層の効率化を図るとともに、本格的な事業再開に向けた環境整備に努めて参りました。以上の結果、当連結会計年度は、売上高52,434百万円（前連結会計年度比53.8%）、営業損失5,483百万円（前連結会計年度は営業利益4,604百万円）、経常損失5,610百万円（前連結会計年度は経常利益4,462百万円）となり、特別損失5,810百万円を計上し、親会社株主に帰属する当期純損失は11,407百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純利益2,420百万円）となりました。

以下、事業別の概況をご報告申し上げます。

## ▶ 映像関連事業

### 【配給】

邦画9作品、洋画4作品、アニメ5作品、シネマ歌舞伎、METライブビューイング、松竹ブロードウェイシネマ等の作品を公開しました。全国の映画館が4月から営業を休止したことで大きな影響を受けましたが、8月公開の「事故物件 怖い間取り」は若年層を中心に支持され大ヒットとなりました。9月公開の京都アニメーション最新作「劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン」は非常に高い評価を受けてロングラン上映となりました。12月公開の「滝沢歌舞伎 ZERO 2020 The Movie」は、舞台と映画を融合させた全く新しいエンタテインメント作品として、好評を博しました。この3作品が、映画業界の興行収入が大きく減少する中、収益に貢献しました。

### 【興行】

(株)松竹マルチプレックスシアターズでは、感染拡大予防ガイドラインに従い、空調設備を適切に稼働させ、お客様の体表面温度の非接触測定やアルコール消毒液の設置等、万全の感染拡大防止対策を行っております。興行では、当社配給作品「事故物件 怖い間取り」の他、「今日から俺は!!劇場版」「コンフィデンスマンJP プリンセス編」「映画ドラえもん のび太の新恐竜」等、夏休み興行が盛況となり、若い世代を中心に多くのお客様にご来場いただきました。秋には『劇場版「鬼滅の刃」無限列車編』が公開され、大ヒットとなりました。

### 【テレビ制作】

地上波にて、連続ドラマ「恐怖新聞」、2時間ドラマ「再雇用警察官」「刑事アフター5」、時代劇スペシャル「必殺仕事人2020」「桶狭間～織田信長 覇王の誕生～」、BS放送にて時代劇スペシャル「む しょう あん無用庵いん さよ しゅぎょう隠居修行4」「上意討ち」を、撮影現場にて万全の感染症対策をとった上で制作し、収益に貢献しました。番組販売では、CS局に「京都殺人案内」「科学捜査官」をハイビジョン化して販売し、BS局に「必殺仕事人」他を販売して好調に推移しました。

## 【映像版権】

◀**DVD・ブルーレイディスク販売**▶ 「男はつらいよ お帰り 寅さん」や「事故物件 怖い間取り」等、話題となった新作を販売し、収益に貢献しました。

◀**配信**▶ 定額制動画配信では、「東京喰種 トーキョーグール【S】」等の大型邦画作品に加え、ジャッキー・チェン主演の「ポリス・ストーリー／REBORN」等をラインナップすることで高い評価をいただきました。都度課金型動画配信の新作は、「引っ越し大名！」をはじめ、新作の配信が好調に推移しました。

◀**権利販売**▶ テレビ放映権販売では、BSテレビ東京で、4月より「男はつらいよ」全50作品の4K放送を開始し、収益に貢献しました。また、国立映画アーカイブにて「松竹第一主義 松竹映画の100年」と題し、特集上映と企画展を行い、多くの方々にご来場いただきました。海外では、ヴェネチア国際映画祭のクラシック部門に、今村昌平監督の「復讐するは我にあり」が選出され、高い評価を得ました。

## 【CS放送】

松竹ブロードキャスティング(株)は、ホームドラマチャンネルでのシネマ歌舞伎の放送開始や、話題となったタイドラマを衛星劇場にていち早く国内のテレビとして初めて編成する等、編成面での強化・インターネット動画配信サービスとの差別化による加入者増によって、収益を確保いたしました。



「事故物件 怖い間取り」  
©2020 「事故物件 怖い間取り」製作委員会



「滝沢歌舞伎 ZERO 2020 The Movie」  
©2020 「滝沢歌舞伎 ZERO 2020 The Movie」製作委員会



「劇場版 ヴァイオレット・エヴァーガーデン」  
©藤佳奈・京都アニメーション/ヴァイオレット・エヴァーガーデン製作委員会

## ▶ 演劇事業

松竹直営劇場の演劇公演では、お客様の安全、安心を第一と考え、引き続き収容率を抑え、できる限りの感染拡大防止対策を実施する中でお客様をお迎えし、それぞれ温かいご声援を頂戴いたしました。

### 【歌舞伎座】

3月から7月までの公演は、すべて中止となりました。5月から7月に予定していた「十三代目市川團十郎白猿襲名披露興行」は延期となりました。8月には興行を再開し、12月までは各部幕間無しの一演目の上演とする、初の四部制興行を行いました。年明けの1月「壽 初春大歌舞伎」からは、各部二演目の三部制興行といたしました。各部終演後には客席をはじめ、楽屋等すべての場所の消毒を実施すると共に、出演者、スタッフもすべて入れ替える等、多額の費用を要する徹底した感染拡大防止の対策を行いました。

### 【新橋演舞場】

3月から9月までの公演及び12月公演は中止および延期となりました。7月・8月に公演予定だった「滝沢歌舞伎 ZERO 2020」は休演中の劇場を利用して舞台を撮影し、映画化いたしました。その全国公開に先駆けて特別上映を10月に行い、興行を再開しました。10月のジャニーズJr.公演「虎者 NINJAPAN 2020」、1月「初春海老蔵歌舞伎」は大盛況となり、それぞれ生配信を実施し、大きな話題となりました。

### 【大阪松竹座】

3月から12月までの公演は中止および延期となりました。8月「Johnny's DREAM ISLAND 2020→2025～大好きなこの街から～」は無観客配信での製作協力を行いました。また、大阪松竹座としては初の試みとなる、9月「大阪松竹座 初のステージ体験ツアー」の開催を始め、1月には「坂東玉三郎 初春特別舞踊公演」が、大好評となりました。

### 【南座】

3月から11月までの公演は中止および延期となりました。8月「南座 夏の舞台体験ツアー」からイベント開催を行い、10月「滝沢歌舞伎 ZERO 2020 The Movie 特別上映」、11月『「鬼滅の刃」×「京都南座 歌舞伎ノ館」』等の各イベントがコロナ禍での新たな企画として、大きな話題となりました。12月は歌舞伎興行の再開となる「吉例顔見世興行」を三部制で行い、コロナ禍においても万全の対策を実施して伝統を守り、好評を博しました。

## 【その他の公演】

巡業等、すべての公演が中止となりました。

## 【受託製作】

3月から9月までの他座からの受託製作の歌舞伎公演が中止となりました。10月御園座「錦秋御園座歌舞伎」、11月博多座「市川海老蔵特別公演」、2月博多座「二月花形歌舞伎」を、それぞれ公演期間を約2週間とし、上演時間を短くした二部制興行にて実施しました。

## 【シネマ歌舞伎・METライブビューイング】

◀シネマ歌舞伎▶4月・5月の「月イチ歌舞伎2020」が上映中止となりましたが、緊急事態宣言の解除後に上映を再開いたしました。10月には新作「三谷かぶき つきあかりぬざすふるさと 月光露針路日本 風雲児たち」を上映し、新たな観客層を取り込み、好評を博しました。

◀METライブビューイング▶新シーズン2020-21は、ニューヨークのメトロポリタン歌劇場で全公演がキャンセルとなり、代替上映として過去シーズンの人気作6作品を「プレミアム・コレクション2021」として2月より上映し、多くのオペラ・ファンを魅了しました。

## 【配信】

感染症拡大のため中止となった、歌舞伎座「三月大歌舞伎」、南座スーパー歌舞伎Ⅱ「新版 オグリ」の無料配信を行いました。また、「歌舞伎家話」かぶきやわ、「紀尾井町家話」きおいちょうやわ、史上初のオンライン歌舞伎である凶夢歌舞伎「忠臣蔵」むかぶき等の動画配信が新しい試みとして、大きな話題となりました。8月には「歌舞伎オンデマンド」を開設し、歌舞伎公演を収録配信いたしました。1月には新橋演舞場「初春海老蔵歌舞伎」を、古典歌舞伎の本興行として初めて千穉楽生配信を行い、大きな評判となりました。



2020年8月 歌舞伎座  
「連獅子」  
©松竹株式会社



2020年10月 新橋演舞場  
「虎者 NINJAPAN 2020」  
©松竹株式会社



2020年12月 南座  
「熊合陣屋」  
©松竹株式会社

## ▶ 不動産事業

不動産賃貸では、歌舞伎座タワー・築地松竹ビル（銀座松竹スクエア）・東劇ビル・新宿松竹会館（新宿ピカデリー）・有楽町センタービル（マリオン）・松竹倶楽部ビル等の満室が続き、全体でも高い稼働率で安定収入に貢献しました。4月には浅草六区松竹ビルが竣工し、5月より賃貸を開始しました。また、各テナント企業との賃料交渉にも誠実に対応し、感染症の影響による賃料減額は最小限にとどめ、ほぼ計画どおりの利益を確保しました。

## ▶ その他の事業

コロナ禍における社会状況を見据え、各事業におけるオンライン販売の強化を図りつつ、人気キャラクターとのコラボレーションやコア層向けの商品開発・販売を主軸に展開しました。

▶ **プログラム・キャラクター商品**▶ 劇場プログラムおよびキャラクター商品は映画館の営業再開以降に公開された「銀魂 THE FINAL」「滝沢歌舞伎 ZERO 2020 The Movie」等で、コアなファンにも支えられ収益に貢献しました。

▶ **イベント事業**▶ テレビアニメ「鬼滅の刃」と歌舞伎とのコラボ展示イベント『「鬼滅の刃」×「京都南座 歌舞伎ノ館」』を南座で実施しました。会場限定キャラクター商品も販売し好評を博しました。

▶ **配信コンテンツ**▶ 感染症の影響により新規コンテンツとして多ジャンルの配信を開始しました。落語の新しい配信コンテンツとして、6月より「ぎんざ木挽亭おんらいん」シリーズ3本、1月より「春風亭一之輔のカブメン。」を実施し、8月に無観客ライブ配信を行った超歌舞伎「夏祭版 今昔饗宴千本桜」では23万人を越す視聴数となりました。また、12月より新進気鋭の映像クリエイターのトークサロン「SHAKE」を立ち上げました。2月には、体験型推理ゲーム「マダー・ミステリーシアター 演技の代償」を全く新しい没入型コンテンツとして映像化し、無観客ライブ配信し好評を得ました。



歌舞伎座タワー  
©松竹株式会社・株式会社歌舞伎座



浅草六区松竹ビル  
©松竹株式会社



「マダー・ミステリーシアター 演技の代償」  
©マダー・ミステリーシアター 演技の代償

各事業別の売上高は、次のとおりです。

| 事業別    | 売上高（前連結会計年度比53.8%） |
|--------|--------------------|
| 映像関連事業 | 31,827百万円（57.7%）   |
| 演劇事業   | 7,317百万円（25.6%）    |
| 不動産事業  | 11,931百万円（102.9%）  |
| その他の事業 | 1,359百万円（65.7%）    |

## 対処すべき課題

世界的な感染症の拡大が長期化し、わが国経済においても、ワクチンや治療薬が普及するまでは、先行きの不透明な状況が続くものと見込まれます。当社グループを取り巻く経営環境についても、引き続き予断を許さない状況を注視する必要があります。

このような状況の中、当社グループは、事態の推移を考量する中で事業を展開し、あらゆる世代のお客様に喜んでいただき、心の支えとなる映像・演劇のコンテンツを、提供して参ります。

**◀映像関連事業▶**映画製作・配給は、感染症の感染拡大を予防するためのガイドラインに基づき、スタッフ・キャストの安全のため感染対策を徹底して参ります。また、独自の製作力を高め自社企画・幹事作品を増やすとともに、外部幹事の作品にも積極的に参加し、宣伝・営業活動に尽力して参ります。2020年の公開予定から延期となりました、“松竹映画100周年記念作品”山田洋次監督最新作「キネマの神様」に加え、岡田准一主演の大ヒット作の続編「ザ・ファブル 殺さない殺し屋」、名匠小泉堯史監督が司馬遼太郎の歴史的名著に挑む歴史大作「峠 最後のサムライ」、2016年と2018年に放送され大人気を博した松本潤主演の連続ドラマ「99.9－刑事専門弁護士－」の映画化作品等、様々なジャンルの作品を公開して参ります。

**◀演劇事業▶**感染症の状況を鑑みて、引き続き感染予防を徹底し、日程、上演時間等も工夫しながら興行して参ります。歌舞伎公演につきましても、一線級の俳優の至芸を見せるとともに、次代を担う俳優の活躍の場を一層広げて参ります。一般演劇公演につきましても、感染症対策をしっかりと取りつつ、新派、松竹新喜劇、ジャニーズ公演の他、ミュージカル等の公演を予定しており、様々なジャンルの作品に取り組んで参ります。シネマ歌舞伎は、コロナ禍の諸影響で公開延期となった新作「いわしうりこいのひきあみ鰯賣戀曳網」の上映を6月に予定しております。また、配信事業を含め積極的に二次利用を展開して参ります。METライブビューイングは、コロナ禍で閉鎖中であるニューヨークのメトロポリタン歌劇場が秋以降に再開され次第、新シーズン2021－22を上映する予定です。

◀不動産事業▶感染症の影響を受けて賃貸借契約の見直しまたは退去するテナント企業が出始めているものの、綿密なコミュニケーションおよび後継テナント誘致によって対処し、収益の確保に努めて参ります。また、中長期的な視点を持って持続的な成長を遂げるため、老朽化物件の建替えという「点」の開発を進めてきた段階からステップアップし、拠点エリアの価値を高める「面」の開発に取り組んでいくことを目標に掲げたエリアマネジメント活動を展開して参ります。

◀その他の事業▶アフターコロナ時代の新たな価値観に対応すべく、既存事業については、各事業におけるオンライン販売を強化し、効率的な業務運用とコスト管理を徹底することにより収益力の改善に努めます。また、「かぶぎにゃんたろう」や新規キャラクター開発を実施し、権利ビジネスを核として将来の収益源を拡大するよう着実に展開して参ります。新規事業領域については、新たなコンテンツの開発や海外マーケットも含めた事業領域の拡大にスピード感を持って取り組み、他業種企業との新しい取り組みも多角的に実行することによって次世代の収益の柱の構築を目指します。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご理解を賜りますようお願い申し上げます。



「キネマの神様」  
©2021 「キネマの神様」製作委員会



「峠 最後のサムライ」  
©2020 「峠 最後のサムライ」  
製作委員会



シネマ歌舞伎  
「翺賛戀曳網」  
©松竹株式会社



「かぶぎにゃんたろう」  
©2021 SANRIO/SHOCHIKU  
著作 (株)サンリオ

## トピックス

# 『ザ・ファブル 殺さない殺し屋』

裏社会で“ファブル (寓話)”と呼ばれ恐れられる伝説の殺し屋がボスから与えられた究極のミッション——それは、「誰も殺さずツーツーに生きること」！

“今一番面白いマンガ”として人気を誇るコミック「ザ・ファブル」(原作：南勝久、講談社「ヤンマガKC」刊)を岡田准一主演で映画化し、2019年6月に全国公開した映画「ザ・ファブル」は、世界基準のアクションとハッピーな笑いが融合した今までにない世界観と超豪華キャストの競演が大きな反響を呼び、大ヒットを記録！累計130万人以上を動員し、週末興行収入ランキングにて邦画No.1に輝きました。

そしてこの度、すべてがバージョンアップした新シリーズ「ザ・ファブル 殺さない殺し屋」が、2021年6月18日に全国公開！！

前作に引き続き伝説の殺し屋・ファブル役に岡田准一。ファブルの相棒でもあり、妹として一般社会に潜入するヨウコ役に木村文乃。ファブルの絶対的なボス役に佐藤浩市。ファブルのアルバイト先の社長・田高田役に佐藤二朗、そこで働くバイト仲間・ミサキ役に山本美月ほか、安田顕、井之脇海、宮川大輔ら個性溢れる豪華キャストが再集結！

さらに、強烈な新キャストも参戦！ファブルの前に立ちはだかる最狂の宿敵・宇津帆役に日本を代表する実力派俳優・堤真一。その宇津帆の右腕となる凄腕の殺し屋・鈴木役に、演技派俳優・安藤政信。そして、物語の鍵を握るヒロインであり、ある事件をきっかけに心を閉ざした車いすの少女・ヒナコ役に、女優として躍進中の平手友梨奈。

彼らと主人公ファブルとの出会いが、やがて大騒動に発展します。

岡田准一自らアクション作りに参加し、生身で数々の危険なアクションに挑戦。スタッフ、キャスト一丸となって、日本映画では見たことのない度肝を抜くアクションシーンを作り上げました。

前作をはるかに超える日本映画の限界突破アクション×笑い×衝撃ストーリーが魂を揺さぶる超大作エンターテインメント作品を、是非ご期待ください。



岡田准一

木村文乃 平手友梨奈 安藤政信

黒瀬 純 好井まさお 橋本マナミ 宮川大輔

リレクプラー

(井下好井)

山本美月 佐藤二朗 井之脇海 / 安田 顕 / 佐藤浩市

堤 真一

原作：南勝久「ザ・ファブル」(講談社「ヤンマガKC」刊)

監督：江口カン 脚本：山浦雅大 江口カン 音楽：グランドファンク

アクション監督：横山誠 ファイトコレオグラファー：岡田准一

主題歌：レディー・ガガ&アリアナ・グランデ「レイン・オン・ミー」(ユニバーサル ミュージック)

©2021「ザ・ファブル 殺さない殺し屋」製作委員会

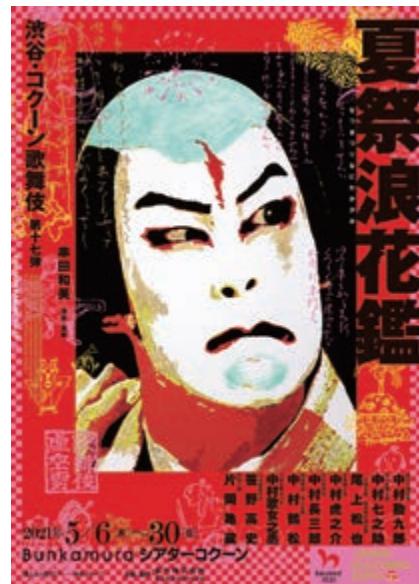
## 渋谷・コクーン歌舞伎第十七弾「夏祭浪花鑑」

本年5月、渋谷Bunkamuraシアターコクーンにて、1996年、2003年、2008年に引き続き、13年振りに「夏祭浪花鑑」を上演いたします。渋谷・コクーン歌舞伎は、十八世中村勘三郎と演出家串田和美等の構想により1994年から始まり、渋谷と云う土地柄、若い方々を含めたあらゆる世代の方々にご来場いただき、古典歌舞伎の枠を越えた斬新な演出やスピーディーな物語の展開をもって、上演の都度大変大きな反響を呼んでおります。本作は、ニューヨークやベルリン、ルーマニアと海外でも上演され、現地の方々は勿論、その作品力は海外メディアにも絶賛されて参りました。今回の舞台は、串田和美による演出・美術はそのままに、十八世中村勘三郎亡き今、そのDNAを引き継ぐ中村勘九郎、中村七之助に加え、尾上松也が出演し、コロナ禍の時代に則した演出で、大きな期待が寄せられております。

大坂が舞台の芝居として知られる本作は、延享2年(1745年)に大坂竹本座で人形浄瑠璃として初演されました。作者は並木千柳・三好松洛・竹田小出雲。人形浄瑠璃全盛期の作品で、初演の翌年には歌舞伎化されております。内容は、大坂の風土が色濃く反映されており、季節感のあふれる夏狂言として、歌舞伎・文楽の双方で度々演じられて参りました。

今回は、団七九郎兵衛に中村勘九郎、団七女房お梶に中村七之助、一寸徳兵衛に尾上松也、そして、三婦に片岡亀蔵、三河屋義平次に笹野高史、また、団七倅市松に勘九郎の次男中村長三郎を配して上演いたします。

昨年よりコロナ禍による影響で、中止や延期を余儀なくされましたテンポラリー公演ですが、この状況のもと感染予防へ最大限の対策を尽くした演出や効果をもって演劇需要の喚起に取り組んで参る所存です。



なつまつりにわかがみ  
渋谷・コクーン歌舞伎「夏祭浪花鑑」  
©松竹株式会社

## 2) 設備投資等の状況

当連結会計年度において実施いたしました設備投資の総額は2,429百万円であります。なお、主要な事業は次のとおりであります。

<当社>

| 設備投資等       | 内容       | 事業区分  |
|-------------|----------|-------|
| 完成した主要事業・設備 | 浅草六区松竹ビル | 不動産事業 |

(注) 浅草六区松竹ビルは2020年4月に竣工し、5月より賃貸を開始いたしました。

<子会社>

【株式会社松竹マルチプレックスシアターズ】

| 設備投資等    | 内容                   | 事業区分   |
|----------|----------------------|--------|
| 継続中の主要設備 | 「熊本ピカデリー」の新設         | 映像関連事業 |
| 継続中の主要設備 | 広島駅新駅ビルシネマコンプレックスの新設 | 映像関連事業 |

(注) 熊本ピカデリーは2021年4月23日より営業を開始いたしました。

## 3) 資金調達の状況

<当社>

浅草六区松竹ビル建設資金として、50億円を借りました。  
コロナ禍での資金安定化対策として、100億円を借りました。

## 4) 他の会社の株式その他の持分の取得又は処分の状況

<子会社>

【松竹ブロードキャスティング株式会社】

2020年7月22日、松竹ブロードキャスティング株式会社が、BS放送事業を手掛けるBS松竹東急株式会社の株式3,000株（株式保有率60%）を取得いたしました。

## 5) 吸収合併又は吸収分割による他の法人等の事業に関する権利義務の承継の状況

該当事項はありません。

## 6) 企業集団の財産および損益の状況の推移

| 区分                                       | 第152期<br>(2017年度) | 第153期<br>(2018年度) | 第154期<br>(2019年度) | 第155期<br>(当連結会計年度)<br>(2020年度) |
|--|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------------------|
| 売上高                                      | 92,878百万円         | 90,827百万円         | 97,479百万円         | 52,434百万円                      |
| 経常利益又は経常損失 (△)                           | 5,774百万円          | 4,054百万円          | 4,462百万円          | △5,610百万円                      |
| 親会社株主に帰属する当期純利益<br>又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) | 3,749百万円          | 2,596百万円          | 2,420百万円          | △11,407百万円                     |
| 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失 (△)               | 272円86銭           | 189円00銭           | 176円18銭           | △830円50銭                       |
| 総資産                                      | 203,572百万円        | 208,345百万円        | 195,336百万円        | 191,205百万円                     |
| 純資産                                      | 92,566百万円         | 92,726百万円         | 91,292百万円         | 80,608百万円                      |
| 1株当たり純資産額                                | 6,730円27銭         | 6,714円22銭         | 6,610円12銭         | 5,837円84銭                      |

(注) 1. 当社は、2017年9月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。第152期の期首に当該併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益および1株当たり純資産額を算定しております。  
2. 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)を第154期の期首から適用しており、第153期に係る数値等については、当該会計基準等を遡って適用した後の指標等となっております。

## 7) 重要な親会社および子会社の状況

### ① 親会社との関係

該当事項はありません。

### ② 重要な子会社の状況

| 会社名                   | 資本金又は出資金  | 出資比率            | 主要な事業内容         |
|-----------------------|-----------|-----------------|-----------------|
| KSビルキャピタル特定目的会社 (注) 1 | 31,600百万円 | [100%]<br>(注) 2 | 歌舞伎座タワーの賃貸および管理 |
| 株式会社松竹マルチプレックスシアターズ   | 3,937百万円  | 100%            | 映画の興行           |
| 松竹ブロードキャスティング株式会社     | 2,500百万円  | 100%            | 衛星放送事業          |

(注) 1. 2021年3月31日を異動日として、当社特定子会社であるKSビルキャピタル特定目的会社を解散いたしました。  
2. 出資比率の〔 〕内は、緊密な者又は同意している者の所有割合となっております。

## 8) 主要な事業内容 (2021年2月28日現在)

### ① 映像関連事業

劇場用映画の製作・売買・配給・興行  
劇場売店の運営  
テレビ映画の制作・販売  
BS・CS・CATVのソフト製作・編集・放送  
映像関連イベントの企画・運営  
ビデオソフトの製作・買付・販売  
音楽著作権の利用開発・許諾

### ② 演劇事業

演劇の企画・製作・興行  
俳優・タレントの斡旋  
舞台衣裳の製作・売買・賃貸  
演劇舞台の大道具・小道具・音響の製作・販売

### ③ 不動産事業

所有不動産の賃貸  
不動産の管理・清掃

### ④ その他の事業

プログラムの製作・販売  
キャラクター商品の企画・販売  
配信コンテンツの企画・制作

(注) 事業区分の見直しを行い、各区分における事業内容を変更及び追加いたしました。

## 9) 主要な事業所 (2021年2月28日現在)

### ① 本社・支社・営業所

<当社>

本社 東京都中央区築地四丁目1番1号  
 関西支社 (大阪) 九州営業所 (福岡)

<子会社>

#### 【株式会社松竹マルチプレックスシアターズ】

本社 東京都中央区築地四丁目1番1号

#### 【松竹ブロードキャスティング株式会社】

本社 東京都中央区築地四丁目1番1号

### ② 映画劇場

<子会社>

#### 【株式会社松竹マルチプレックスシアターズ】

|     |                 |     |                    |
|-----|-----------------|-----|--------------------|
| 北海道 | 札幌シネマフロンティア (4) | 神奈川 | MOVIX橋本 (9)        |
| 宮 城 | MOVIX仙台 (10)    | 静 岡 | MOVIX清水 (9)        |
| 茨 城 | MOVIXつくば (9)    | 愛 知 | MOVIX三好 (12)       |
| 栃 木 | MOVIX宇都宮 (10)   | //  | ミッドランドスクエア シネマ (5) |
| 群 馬 | MOVIX伊勢崎 (10)   | 京 都 | MOVIX京都 (12)       |
| 埼 玉 | MOVIXさいたま (12)  | 大 阪 | なんばパークスシネマ (6)     |
| //  | MOVIX三郷 (12)    | //  | 大阪ステーションシティシネマ (6) |
| //  | MOVIX川口 (9)     | //  | MOVIX堺 (12)        |
| 千 葉 | MOVIX柏の葉 (10)   | //  | MOVIX八尾 (12)       |
| 東 京 | 丸の内ピカデリー (3)    | 兵 庫 | 神戸国際松竹 (4)         |
| //  | 新宿ピカデリー (10)    | //  | MOVIXあまがさき (11)    |
| //  | 東劇              | 鳥 取 | MOVIX日吉津 (6)       |
| //  | MOVIX亀有 (10)    | 岡 山 | MOVIX倉敷 (10)       |
| //  | MOVIX昭島 (12)    | 山 口 | MOVIX周南 (7)        |
| 神奈川 | 横浜ブルク13 (3)     |     |                    |

合計 29サイト 246スクリーン ( ) 内はスクリーン数又は持分スクリーン数  
 (注) MOVIX利府は、2020年10月31日に閉館しました。

### ③ 当社の演劇劇場

|     |       |
|-----|-------|
| 東 京 | 歌舞伎座  |
| //  | 新橋演舞場 |

|     |       |
|-----|-------|
| 京 都 | 南座    |
| 大 阪 | 大阪松竹座 |

### ④ 賃貸ビル他

<当社>

|     |          |
|-----|----------|
| 東 京 | 歌舞伎座タワー  |
| //  | 築地松竹ビル   |
| //  | 東劇ビル     |
| //  | 有楽町マリオン  |
| //  | 新宿松竹会館   |
| //  | 松竹倶楽部ビル  |
| //  | 浅草六区松竹ビル |
| //  | 新木場倉庫    |

|     |              |
|-----|--------------|
| 神奈川 | 松竹ショッピングセンター |
| 静 岡 | 浜松松竹ビル       |
| 京 都 | 京都松竹阪井座ビル    |
| //  | 松竹京都撮影所      |
| //  | 京都松竹座ビル      |
| 大 阪 | 大阪松竹座        |
| 福 岡 | 博多STビル       |

<子会社>

【松竹衣裳株式会社】

|     |        |
|-----|--------|
| 東 京 | 松竹新富ビル |
|-----|--------|

|     |          |
|-----|----------|
| 大 阪 | 大阪松竹衣裳ビル |
|-----|----------|

## 10) 使用人の状況 (2021年2月28日現在)

### ① 企業集団の使用人の状況

| 事業区分    | 使用人数          | 前連結会計年度末比増減   |
|---------|---------------|---------------|
| 映像関連事業  | 569 ( 78) 名   | 26名増 ( 32名減)  |
| 演劇事業    | 597 (136) 名   | 356名増 ( 49名増) |
| 不動産事業   | 79 ( 42) 名    | 49名増 ( 38名増)  |
| その他の事業  | 75 ( 17) 名    | 374名減 ( 86名減) |
| 全社 (共通) | 107 ( 10) 名   | 7名増 ( 1名減)    |
| 合 計     | 1,427 (283) 名 | 64名増 ( 32名減)  |

- (注) 1. 使用人数は就業員数であり、臨時雇用者数は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しています。  
 2. 全社 (共通) として記載されている使用人数は、特定の事業に区分できない管理部門に所属しているものです。  
 3. 事業区分での使用人数の大きな増減は、連結子会社の事業区分変更によるものです。

### ② 当社の使用人の状況

| 使用人数        | 前事業年度末比増減  | 平均年齢  | 平均勤続年数 |
|-------------|------------|-------|--------|
| 588 (118) 名 | 16名増 (1名増) | 42.8歳 | 16.6年  |

- (注) 使用人数は就業員数であり、臨時雇用者数は ( ) 内に年間の平均人員を外数で記載しています。

## 11) 主要な借入先 (2021年2月28日現在)

| 借入先              | 借入額       |
|------------------|-----------|
| 株式会社みずほ銀行        | 18,585百万円 |
| 株式会社三菱UFJ銀行      | 16,660百万円 |
| 株式会社日本政策投資銀行     | 13,793百万円 |
| 株式会社三井住友銀行       | 9,925百万円  |
| 一般財団法人民間都市開発推進機構 | 5,916百万円  |
| みずほ信託銀行株式会社      | 3,167百万円  |
| 株式会社七十七銀行        | 3,085百万円  |

## 2. 当社の株式に関する事項 (2021年2月28日現在)

- 1) 発行可能株式総数 30,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 13,937,857株 (自己株式125,368株を含んでおります。)
- 3) 株主数 15,468名 (前事業年度末比580名減)
- 4) 大株主 (上位10名)

| 株主名                      | 持株数 (百株) | 持株比率 (%) |
|--------------------------|----------|----------|
| 株式会社歌舞伎座                 | 4,802    | 3.48     |
| 株式会社みずほ銀行                | 4,500    | 3.26     |
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口) | 4,460    | 3.23     |
| 株式会社三菱UFJ銀行              | 4,344    | 3.14     |
| セコム株式会社                  | 3,700    | 2.68     |
| 清水建設株式会社                 | 3,690    | 2.67     |
| 株式会社大林組                  | 3,600    | 2.61     |
| 西松建設株式会社                 | 3,288    | 2.38     |
| 大成建設株式会社                 | 3,104    | 2.25     |
| 株式会社TBSテレビ               | 3,085    | 2.23     |

(注) 持株比率は自己株式 (125,368株) を控除して計算しております。

## 3. 当社の新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

## 4. 当社役員に関する事項

### 1) 取締役および監査役の状況 (2021年2月28日現在)

| 会社における地位 | 氏名                 | 担当および重要な兼職の状況  |
|----------|--------------------|--|
| 取締役会長    | 大谷 信義              | 株式会社歌舞伎座取締役会長  |
| 代表取締役社長  | 迫本 淳一              | 新橋演舞場株式会社代表取締役社長   |
| 代表取締役副社長 | 安孫子 正              | 演劇本部長  |
| 代表取締役副社長 | 細田 光人              | 事業開発本部長  |
| 専務取締役    | 武中 雅人              | 不動産本部長<br>株式会社歌舞伎座代表取締役社長  |
| 専務取締役    | 山根 成之              | 演劇副本部長、演劇統括部門、歌舞伎製作部門担当<br>事業開発本部開発企画部門副担当   |
| 常務取締役    | 岡崎 哲也              | 最高財務責任者、秘書室、IR（インベスター・リレーションズ）担当<br>開発企画部2020企画・IR推進室副担当、演劇本部顧問                            |
| 常務取締役    | 秋元 一孝              | 管理本部長、総務部門、人事部門、法務室、西日本統括担当  |
| 常務取締役    | 高橋 敏弘              | 映像本部長、映像企画部門、映像調整部門担当<br>事業開発本部開発企画部門、グローバル事業部門副担当   |
| 社外取締役相談役 | 高橋 和夫              | 東急株式会社代表取締役社長 社長執行役員<br>東急電鉄株式会社取締役<br>株式会社東急総合研究所取締役会長                                    |
| 社外取締役    | 田中 早苗<br>(本名：菊川早苗) | 弁護士<br>田中早苗法律事務所代表<br>株式会社ノエビアホールディングス社外取締役<br>株式会社パイロットコーポレーション社外取締役<br>株式会社近鉄エクスプレス社外取締役 |
| 取締役      | 西村 幸記              | 演劇副本部長、演劇製作部門、演劇ライツ部門、演劇営業部門担当   |
| 取締役      | 井上 貴弘              | 事業開発副本部長、イノベーション推進部門担当<br>イノベーション推進部長  |
| 取締役      | 小山 卓               | 経営企画部門担当、経営企画部長  |
| 取締役      | 船越 直人              | 演劇興行部門担当、演劇統括部長、演劇広報室長   |
| 取締役      | 尾崎 啓成              | 経理部門、財務部門担当、IR（インベスター・リレーションズ）副担当<br>株式会社歌舞伎座社外取締役   |
| 取締役      | 齊藤 久美子             | 映像統括部門、映像素材管理スタッフ担当、映像統括部長   |

| 会社における地位 | 氏名      | 担当および重要な兼職の状況   |
|----------|---------|---|
| 常勤監査役    | 田 島 賢 一 | —   |
| 常勤監査役    | 内 藤 博 行 | —   |
| 社外監査役    | 立 花 貞 司 | 岡崎信用金庫理事<br>学校法人名城大学理事長                                 |
| 社外監査役    | 朝比奈 豊   | 株式会社毎日新聞グループホールディングス相談役<br>株式会社毎日新聞社相談役                 |
| 社外監査役    | 井ノ上 正 男 | 弁護士<br>大高法律事務所<br>株式会社歌舞伎座社外監査役<br>株式会社永谷園ホールディングス社外監査役 |

- (注) 1. 2020年5月26日開催の第154回定時株主総会において、新たに高橋和夫氏、尾崎啓成氏および齊藤久美子氏は取締役役に就任いたしました。  
2. 取締役相談役高橋和夫氏および取締役田中早苗氏は社外取締役であります。  
3. 監査役立花貞司氏、朝比奈豊氏および井ノ上正男氏は社外監査役であります。  
4. 当社と各取締役（業務執行取締役等であるものを除く）並びに各監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第425条第1項に規定する最低責任限度額を限度とする責任限定契約を締結しております。  
5. 当社は、取締役相談役高橋和夫氏および取締役田中早苗氏、並びに監査役立花貞司氏、朝比奈豊氏および井ノ上正男氏を東京証券取引所・札幌証券取引所・福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、各取引所に届け出ております。  
6. 当事業年度中に退任した取締役

| 氏名      | 退任日        | 退任理由 | 退任時の地位・担当および重要な兼職の状況   |
|---------|------------|------|--|
| 大 角 正   | 2020年5月26日 | 任期満了 | 当社常務取締役、映像本部長、映像統括部門、映像素材管理スタッフ担当  |
| 越 村 敏 昭 | 2020年5月26日 | 任期満了 | 当社社外取締役相談役、東急株式会社相談役、静岡鉄道株式会社社外取締役、学校法人亜細亜学園理事長、公益財団法人五島美術館理事長、公益財団法人東急財団理事長 |
| 関 根 康   | 2020年5月26日 | 任期満了 | 当社取締役、西日本統括（演劇本部・映像本部・事業本部・管理本部）担当、松竹芸能株式会社代表取締役社長、株式会社松竹エンタテインメント代表取締役社長    |

7. 当事業年度中の取締役の担当等の異動

|          |        |             |  |
|----------|--------|-------------|--|
| 代表取締役副社長 | 安孫子 正  | 2020年 5月26日 | 演劇経理部門担当の委嘱を解く   |
| 専務取締役    | 山根 成之  | 2020年 5月26日 | 演劇興行部門（東京）担当の委嘱を解く   |
| 常務取締役    | 岡崎 哲也  | 2020年 5月26日 | 経理部門、財務部門担当の委嘱を解く  |
| 常務取締役    | 秋元 一孝  | 2020年 5月26日 | 西日本統括担当を委嘱   |
| 常務取締役    | 高橋 敏弘  | 2020年 5月26日 | 映像副本部長、映画営業部門、映画宣伝部門、メディア事業部門担当の委嘱を解く<br>映像本部長を委嘱                                  |
| 取締役相談役   | 高橋 和夫  | 2020年 5月26日 | 取締役相談役就任   |
| 取締役      | 西村 幸記  | 2020年 5月26日 | 演劇興行部門（関西）担当の委嘱を解く<br>演劇ライツ部門、演劇営業部門担当を委嘱  |
| 取締役      | 井上 貴弘  | 2020年 5月26日 | 事業統括部門担当、事業統括部長事務取扱の委嘱を解く  |
| 取締役      | 船越 直人  | 2020年 5月26日 | 演劇ライツ部門、演劇営業部門担当、歌舞伎製作部門副担当の委嘱を解く<br>演劇興行部門担当を委嘱                                   |
| 取締役      | 尾崎 啓成  | 2020年 5月26日 | 取締役就任  |
| 取締役      | 齊藤 久美子 | 2020年 5月26日 | 経理部門、財務部門担当、IR（インバスター・リレーションズ）副担当を委嘱<br>取締役就任<br>映像統括部門、映像素材管理スタッフ担当、映像統括部長事務取扱を委嘱 |

## 2) 取締役および監査役の報酬等

### ① 当事業年度に係る報酬等の総額

| 区分  | 支給人員（うち社外） | 支給額（うち社外）     |
|-----|------------|---------------|
| 取締役 | 20名（3名）    | 571百万円（15百万円） |
| 監査役 | 5名（3名）     | 47百万円（22百万円）  |
| 合計  | 25名（6名）    | 618百万円（37百万円） |

- (注) 1. 当事業年度末日時点における在籍人数は、取締役17名、監査役5名ですが、上記報酬額には、2020年5月26日開催の第154回定時株主総会終結の時をもって任期満了により退任した取締役3名が含まれております。
2. 使用人兼務取締役の使用人分給与は支給しておりません。
3. 取締役の報酬限度額は、2015年5月26日開催の第149回定時株主総会において年額680百万円以内（ただし、使用人分給与は含まない。）の決議をいただいております。
4. 監査役の報酬限度額は、2019年5月28日開催の第153回定時株主総会において年額60百万円以内の決議をいただいております。
5. 上記支給額には、当事業年度に計上した役員退職慰労引当金繰入額61百万円（取締役54百万円、監査役7百万円）を含んでおります。

### ② 当事業年度に支払った役員退職慰労金

2020年5月26日開催の第154回定時株主総会決議に基づき、役員退職慰労金を以下のとおり支給しております。

|       |    |         |
|-------|----|---------|
| 退任取締役 | 3名 | 4,508万円 |
|-------|----|---------|

### 3) 社外役員に関する事項

#### ① 他の法人等の重要な兼職の状況および当社と当該他の法人等との関係

社外役員の兼職につきましては、前記(1)「取締役および監査役の状況」に記載のとおりであります。各社外役員の各兼職先と当社の間には特別の関係はありません。

#### ② 当事業年度における主な活動状況

| 区分  | 氏名    | 主な活動状況   |
|-----|-------|--|
| 取締役 | 高橋和夫  | 2020年5月26日就任以来開催の取締役会13回のうち11回に出席しております。会社経営者としての豊富な経験と経営企画部門に深い見識を有し、経営全般に関し客観的また中立的な発言、助言を適宜頂戴しております。                    |
| 取締役 | 田中早苗  | 当事業年度開催の取締役会17回のうち17回に出席しております。弁護士として専門的な知見や、他業種の社外取締役としての経験を基に、経営に関しての発言を適宜頂いております。又演劇事業や映像事業に対しても、独自の視点で積極的な意見を頂戴しております。 |
| 監査役 | 立花貞司  | 当事業年度開催の取締役会17回のうち14回に、また監査役会10回の全てに出席しております。著名企業での役員経歴を生かし、大所高所から企業グループの経営に対して適宜貴重な発言をいただいております。                          |
| 監査役 | 朝比奈豊  | 当事業年度開催の取締役会17回のうち16回に、また監査役会10回のうち9回に出席しております。著名企業での役員経歴を生かし、大所高所から幅広い視野に立ち、主に経済・財務等についての適切な意見をいただいております。                 |
| 監査役 | 井ノ上正男 | 当事業年度開催の取締役会17回の全て、また監査役会10回の全てに出席しております。弁護士としての専門的見地から、主に取締役の経営判断等について、善管注意義務・忠実義務等の視点から発言をいただいております。                     |

## 5. 会計監査人に関する事項

### 1) 名称 新創監査法人

### 2) 報酬等の額

|                                      | 支払額   |
|--------------------------------------|-------|
| 当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額                  | 64百万円 |
| 当社および子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額 | 85百万円 |

- (注) 1. 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬等の額を明確に区分しておらず、実質的にも区分できませんので、当事業年度に係る会計監査人の報酬等の額にはこれらの合計額を記載しております。
2. 監査役会は毎期、会計監査人の独立性および監査品質管理等の内部統制に関する体制の構築と運用状況について確認しております。事業年度に係る会計監査人の監査計画の内容、会計監査の職務遂行状況および監査報酬見積りの算出根拠等について、日本監査役協会の「会計監査人との連携に関する実務指針」および「監査役会規則」等に基づき、検証した結果、会計監査人の報酬等の額について会社法第399条第1項の同意をいたしました。

### 3) 非監査業務の内容

該当事項はありません。

### 4) 会計監査人の解任又は不再任の決定の方針

監査役会は、会計監査人が会社法および公認会計士法の法令に違反・抵触した場合並びに公序良俗に反する行為があったと判断した場合、その事実に基づき当該会計監査人の解任又は不再任の検討を行い、解任又は不再任が妥当と判断した場合は、監査役会規則等に則り、株主総会に提出する「会計監査人の解任」又は「会計監査人の不再任」に関する議案の内容を決定いたします。

また、監査役会は、会計監査人が会社法第340条第1項各号のいずれかに該当し、会計監査人の解任を相当と判断した場合には、監査役全員の同意により会計監査人を解任いたします。この場合、監査役会が選定した監査役は、解任後最初に招集される株主総会において、会計監査人を解任した旨と解任理由をご報告いたします。

### 5) 責任限定契約の内容の概要

当社と会計監査人新創監査法人は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第425条第1項に規定する最低責任限度額を限度とする責任限定契約を締結しております。

## 6. 当社の体制および方針

### 1) 業務の適正を確保するための体制

#### ① 取締役および使用人の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制

1. 取締役および使用人は、「松竹グループミッション・ビジョン」「松竹グループ行動規範」「取締役服務規律規程」「従業員就業規則」に基づき、その職務の執行にあたり法令、定款および企業倫理の遵守につとめる。
2. 社内コンプライアンス体制の整備の一環として、社長を委員長とするリスク管理委員会を設置し、定期的を開催する。不祥事、事故発生時の報告は同委員会に集約され、対策を講じる。
3. 「松竹グループ内部通報規程」に基づき、ヘルプラインを設置し、法令、定款および企業倫理違反行為等について使用人が直接情報提供を行う手段として、グループとしての内部通報制度を運用する。
4. 取締役会は、取締役の職務の執行が法令および定款に適合することを確保するための体制並びに会社業務の適正を確保するための体制の整備を行う。

#### ② 取締役の職務の執行に係る情報の保存および管理に関する体制

取締役の職務執行又は意思決定に関する文書（電磁的記録を含む）については、「文書管理規程」にその整理、保管および処理等の取り扱いに必要な基準を定め、情報の機密性、完全性、可用性を確保する。

#### ③ 損失の危険の管理に関する規程その他の体制

1. 「松竹グループリスク管理規程」に基づき、リスク管理委員会を定期的を開催し、グループ全体のリスクを網羅的かつ総括的に管理する。
2. 財務報告に重大な影響を与えるリスクについては、各部門による日常的モニタリングおよび「内部統制運用規程」に基づく内部統制評価によって適切に管理されるものとし、リスク管理委員会は内部統制評価結果を検討した上で、取締役会および監査役会に報告する。

#### ④ 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

1. 変化の激しい経営環境に対し機敏な対応を図るため、取締役会を「取締役会規則」に基づき毎月1回以上開催し、業務執行の意思決定を行う。
2. 業務執行に関する権限および手続については「職務権限規程」「稟議規程」に定めるものとする。

### ⑤ 企業集団における業務の適正を確保するための体制

1. 「内部統制運用規程」に基づき、企業集団内における内部統制システムの整備、運用および見直し等を行い、会社の健全化、効率化および公正化を図る。
2. 「内部監査規程」に基づき、内部監査室は、子会社の内部監査を実施し、内部管理体制の適切性および有効性を検証し、その結果を代表取締役および監査役会に報告する。
3. 当社取締役、当社グループ各社の社長は、各部門並びに各社の業務執行の適正を確保する内部統制の確立および運用について権限と責任を有する。

### ⑥ 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項および当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

取締役は監査役を補助すべき使用人の任命、解任、人事異動、評価、賃金の改定その他については、監査役会の意見を聴取した上で、取締役はこれを尊重し、独立性を確保する。また、監査役を補助すべき使用人は業務の執行にかかる役職を兼務しないこととする。

### ⑦ 当社グループの取締役および使用人が監査役に報告するための体制

1. 当社グループの取締役および使用人は当社の業務および経営における重要な事項については、監査役会に報告することとする。また監査役会はいつでも必要に応じて取締役および使用人に対して報告を求めることができる。
2. 当社は、当社グループの取締役および使用人が監査役会へ当該報告をしたことを理由として、不利な取り扱いを行うことを禁止する。

### ⑧ その他監査役が監査が実効的に行われることを確保するための体制

1. 監査役会は、社長および会計監査人と定期的に会合を持ち、当社が対処すべき課題および監査上の重要課題等について意見交換を行うものとする。また、監査役会が必要と認めたときは社長と協議の上、特定事項について関係各部署に対して、監査への協力を求めることが出来る。
2. 監査役会は、必要に応じて独自の外部専門家（弁護士・公認会計士等）から監査業務に関する助言を受けることが出来る。

### ⑨ 反社会的勢力を排除するための体制

1. 企業の社会的責任として、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力との関係を遮断する旨を「松竹グループ行動規範」に明記し周知徹底を図る。
2. 反社会的勢力からの不当要求や、会社に利益となる商取引を持ちかけられたとしても、毅然とした態度で対応のうえ断固拒絶し、仮に不当要求等がなされた場合は、個人で対応することなく会社組織として警察や弁護士、外部の専門機関と連携して対応する。

## 2) 業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要

業務の適正を確保するための体制の運用状況の概要は、前記（1）に掲げた内部統制の施策に従い、その基本方針に基づき具体的な取り組みを行うとともに、その運用状況について重要な不備がないかモニタリングを適宜行っており、その結果をリスク管理委員会に年2回報告しております。

また、管理部門・内部監査室・グループ企画室が中心となり、当社および当社グループ各社に対してコンプライアンスについて周知徹底を行い、当社グループの内部統制の運用が有効に機能するよう努めております。

## 3) 剰余金の配当等の決定に関する方針

当社では、収益状況や経営基盤の強化と将来の事業展開に備えた内部留保の充実状況等を勘案し、安定的に配当を継続していくことを基本方針としております。

（注）本事業報告中の記載金額および株式数は、表示単位未満の端数を切り捨てております。

# 連結計算書類

## 連結貸借対照表 (2021年2月28日現在)

(単位：百万円)

| 科目              | 金額             |
|-----------------|----------------|
| <b>資産の部</b>     |                |
| <b>流動資産</b>     | <b>35,310</b>  |
| 現金及び預金          | 18,312         |
| 受取手形及び売掛金       | 5,434          |
| 商品及び製品          | 1,852          |
| 仕掛品             | 4,739          |
| 原材料及び貯蔵品        | 108            |
| 前渡金             | 632            |
| 前払費用            | 867            |
| 立替金             | 399            |
| 未収消費税等          | 820            |
| その他             | 2,168          |
| 貸倒引当金           | △ 25           |
| <b>固定資産</b>     | <b>155,895</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>103,377</b> |
| 建物及び構築物         | 44,491         |
| 設備              | 11,660         |
| 機械装置及び運搬具       | 1,856          |
| 工具、器具及び備品       | 787            |
| 土地              | 41,784         |
| リース資産           | 2,641          |
| 建設仮勘定           | 126            |
| その他             | 28             |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>2,327</b>   |
| 借地権             | 1,660          |
| 商標権             | 8              |
| ソフトウェア          | 596            |
| その他             | 62             |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>50,189</b>  |
| 投資有価証券          | 30,070         |
| 長期貸付金           | 692            |
| 長期前払費用          | 12,563         |
| 繰延税金資産          | 295            |
| 退職給付に係る資産       | 118            |
| 差入保証金           | 5,847          |
| その他             | 763            |
| 貸倒引当金           | △ 161          |
| <b>資産合計</b>     | <b>191,205</b> |

| 科目                 | 金額             |
|--------------------|----------------|
| <b>負債の部</b>        |                |
| <b>流動負債</b>        | <b>29,257</b>  |
| 支払手形及び買掛金          | 5,491          |
| 短期借入金              | 4,281          |
| 1年内返済予定の長期借入金      | 9,908          |
| リース債務              | 783            |
| 未払金                | 1,545          |
| 未払費用               | 1,354          |
| 未払事業所税             | 163            |
| 未払法人税等             | 860            |
| 未払消費税等             | 163            |
| 賞与引当金              | 464            |
| その他                | 4,240          |
| <b>固定負債</b>        | <b>81,339</b>  |
| 長期借入金              | 61,266         |
| リース債務              | 2,017          |
| 繰延税金負債             | 4,801          |
| 役員退職慰労引当金          | 1,036          |
| 退職給付に係る負債          | 1,568          |
| 資産除去債務             | 1,394          |
| 受入保証金              | 8,474          |
| その他                | 778            |
| <b>負債合計</b>        | <b>110,597</b> |
| <b>純資産の部</b>       |                |
| <b>株主資本</b>        | <b>72,006</b>  |
| 資本金                | 33,018         |
| 資本剰余金              | 30,136         |
| 利益剰余金              | 10,322         |
| 自己株式               | △ 1,470        |
| <b>その他の包括利益累計額</b> | <b>8,176</b>   |
| その他有価証券評価差額金       | 8,450          |
| 為替換算調整勘定           | △ 59           |
| 退職給付に係る調整累計額       | △ 213          |
| <b>非支配株主持分</b>     | <b>424</b>     |
| <b>純資産合計</b>       | <b>80,608</b>  |
| <b>負債・純資産合計</b>    | <b>191,205</b> |

## 連結損益計算書 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：百万円)

| 科目              | 金額    |        |
|-----------------|-------|--------|
| 売上高             |       | 52,434 |
| 売上原価            |       | 33,293 |
| 売上総利益           |       | 19,141 |
| 販売費及び一般管理費      |       | 24,625 |
| 営業損失            |       | 5,483  |
| 営業外収益           |       |        |
| 受取利息及び配当金       | 557   |        |
| 雇用調整助成金         | 307   |        |
| その他             | 294   | 1,159  |
| 営業外費用           |       |        |
| 支払利息            | 618   |        |
| 借入手数料           | 166   |        |
| 持分法による投資損失      | 259   |        |
| その他             | 241   | 1,285  |
| 経常損失            |       | 5,610  |
| 特別損失            |       |        |
| 固定資産売却損         | 48    |        |
| 固定資産除却損         | 190   |        |
| 投資有価証券評価損       | 117   |        |
| 災害による損失         | 310   |        |
| 公演中止損失          | 3,667 |        |
| 臨時休業等による損失      | 1,048 |        |
| 減損損失            | 428   | 5,810  |
| 税金等調整前当期純損失     |       | 11,420 |
| 法人税、住民税及び事業税    | 185   |        |
| 法人税等調整額         | △128  | 57     |
| 当期純損失           |       | 11,478 |
| 非支配株主に帰属する当期純損失 |       | 70     |
| 親会社株主に帰属する当期純損失 |       | 11,407 |

## 連結株主資本等変動計算書 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：百万円)

|                               | 株主資本   |        |         |        |         |
|-------------------------------|--------|--------|---------|--------|---------|
|                               | 資本金    | 資本剰余金  | 利益剰余金   | 自己株式   | 株主資本合計  |
| 当期首残高                         | 33,018 | 30,136 | 22,143  | △1,456 | 83,841  |
| 当期変動額                         |        |        |         |        |         |
| 剰余金の配当                        |        |        | △414    |        | △414    |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純損失           |        |        | △11,407 |        | △11,407 |
| 自己株式の取得                       |        |        |         | △14    | △14     |
| 自己株式の処分                       |        | 0      |         | 0      | 1       |
| 持分法適用会社に対する持分<br>変動に伴う自己株式の増減 |        |        |         | △0     | △0      |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額）       |        |        |         |        |         |
| 当期変動額合計                       | －      | 0      | △11,821 | △13    | △11,834 |
| 当期末残高                         | 33,018 | 30,136 | 10,322  | △1,470 | 72,006  |

|                               | その他の包括利益累計額      |                  |                  |                   | 非支配株主持分 | 純資産合計   |
|-------------------------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|---------|---------|
|                               | その他有価証券<br>評価差額金 | 為替換<br>算調整<br>勘定 | 退職給付に係る<br>調整累計額 | その他の包括<br>利益累計額合計 |         |         |
| 当期首残高                         | 6,723            | △36              | 268              | 6,955             | 495     | 91,292  |
| 当期変動額                         |                  |                  |                  |                   |         |         |
| 剰余金の配当                        |                  |                  |                  |                   |         | △414    |
| 親会社株主に帰属する<br>当期純損失           |                  |                  |                  |                   |         | △11,407 |
| 自己株式の取得                       |                  |                  |                  |                   |         | △14     |
| 自己株式の処分                       |                  |                  |                  |                   |         | 1       |
| 持分法適用会社に対する持分<br>変動に伴う自己株式の増減 |                  |                  |                  |                   |         | △0      |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額）       | 1,726            | △23              | △481             | 1,221             | △70     | 1,150   |
| 当期変動額合計                       | 1,726            | △23              | △481             | 1,221             | △70     | △10,684 |
| 当期末残高                         | 8,450            | △59              | △213             | 8,176             | 424     | 80,608  |

# ▶ 計算書類

## 貸借対照表 (2021年2月28日現在)

(単位：百万円)

| 科目              | 金額             |
|-----------------|----------------|
| <b>資産の部</b>     |                |
| <b>流動資産</b>     | <b>19,984</b>  |
| 現金及び預金          | 6,871          |
| 受取手形及び売掛金       | 3,752          |
| 商品              | 486            |
| 製品              | 99             |
| 仕掛品             | 4,937          |
| 貯蔵品             | 16             |
| 前渡金             | 624            |
| 前払費用            | 271            |
| 短期貸付金           | 272            |
| 立替金             | 420            |
| 未収消費税等          | 427            |
| その他             | 1,827          |
| 貸倒引当金           | △22            |
| <b>固定資産</b>     | <b>163,839</b> |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>79,180</b>  |
| 建物              | 28,076         |
| 設備              | 7,215          |
| 構築物             | 89             |
| 機械及び装置          | 1,396          |
| 車両運搬具           | 0              |
| 工具、器具及び備品       | 406            |
| 土地              | 41,248         |
| リース資産           | 745            |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>2,603</b>   |
| 借地権             | 2,365          |
| 商標権             | 8              |
| ソフトウェア          | 229            |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>82,055</b>  |
| 投資有価証券          | 27,573         |
| 関係会社株式          | 15,258         |
| その他の関係会社有価証券    | 31,600         |
| 長期貸付金           | 4,936          |
| 差入保証金           | 1,472          |
| 前払年金費用          | 426            |
| その他             | 1,598          |
| 貸倒引当金           | △810           |
| <b>資産合計</b>     | <b>183,824</b> |

| 科目                  | 金額             |
|---------------------|----------------|
| <b>負債の部</b>         |                |
| <b>流動負債</b>         | <b>23,912</b>  |
| 買掛金                 | 3,130          |
| 短期借入金               | 15,155         |
| リース債務               | 136            |
| 未払金                 | 879            |
| 未払費用                | 967            |
| 未払事業所税              | 42             |
| 未払法人税等              | 174            |
| 前受金                 | 1,188          |
| 預り金                 | 1,906          |
| 賞与引当金               | 316            |
| その他                 | 13             |
| <b>固定負債</b>         | <b>78,685</b>  |
| 長期借入金               | 62,476         |
| リース債務               | 578            |
| 繰延税金負債              | 4,888          |
| 役員退職慰労引当金           | 760            |
| 資産除去債務              | 214            |
| 受入保証金               | 8,426          |
| その他                 | 1,339          |
| <b>負債合計</b>         | <b>102,598</b> |
| <b>純資産の部</b>        |                |
| <b>株主資本</b>         | <b>72,834</b>  |
| <b>資本金</b>          | <b>33,018</b>  |
| <b>資本剰余金</b>        | <b>29,930</b>  |
| 資本準備金               | 27,935         |
| その他資本剰余金            | 1,994          |
| <b>利益剰余金</b>        | <b>10,911</b>  |
| その他利益剰余金            | 10,911         |
| 固定資産圧縮積立金           | 3,717          |
| 繰越利益剰余金             | 7,194          |
| <b>自己株式</b>         | <b>△1,026</b>  |
| <b>評価・換算差額等</b>     | <b>8,392</b>   |
| <b>その他有価証券評価差額金</b> | <b>8,392</b>   |
| <b>純資産合計</b>        | <b>81,226</b>  |
| <b>負債・純資産合計</b>     | <b>183,824</b> |

# 損益計算書 (自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：百万円)

| 科目           | 金額    |        |
|--------------|-------|--------|
| 売上高          |       | 31,063 |
| 売上原価         |       | 20,179 |
| 売上総利益        |       | 10,883 |
| 販売費及び一般管理費   |       | 12,666 |
| 営業損失         |       | 1,782  |
| 営業外収益        |       |        |
| 受取利息及び配当金    | 1,553 |        |
| その他          | 325   | 1,878  |
| 営業外費用        |       |        |
| 支払利息         | 633   |        |
| 借入手数料        | 166   |        |
| 貸倒引当金繰入額     | 180   |        |
| その他          | 205   | 1,185  |
| 経常損失         |       | 1,089  |
| 特別損失         |       |        |
| 固定資産売却損      | 90    |        |
| 固定資産除却損      | 121   |        |
| 投資有価証券評価損    | 117   |        |
| 関係会社株式評価損    | 81    |        |
| 公演中止損失       | 3,227 |        |
| 臨時休業等による損失   | 129   |        |
| 減損損失         | 428   | 4,195  |
| 税引前当期純損失     |       | 5,284  |
| 法人税、住民税及び事業税 | 14    |        |
| 法人税等調整額      | △275  | △260   |
| 当期純損失        |       | 5,024  |

# 株主資本等変動計算書

(自 2020年3月1日 至 2021年2月28日)

(単位：百万円)

|                         | 株主資本   |        |        |        |       |        |           |         |        |      |       |
|-------------------------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|-----------|---------|--------|------|-------|
|                         | 資本金    | 資本剰余金  |        |        |       |        | 利益剰余金     |         |        | 自己株式 | 株主資本計 |
|                         |        | 資本準備金  | その他剰余金 | 資本剰余金  | 資本剰余金 | 資本剰余金  | その他利益剰余金  |         | 利益剰余金  |      |       |
|                         |        |        |        |        |       |        | 固定資産圧縮積立金 | 繰越利益剰余金 |        |      |       |
| 当期首残高                   | 33,018 | 27,935 | 1,994  | 29,929 | 3,744 | 12,605 | 16,350    | △1,013  | 78,286 |      |       |
| 当期変動額                   |        |        |        |        |       |        |           |         |        |      |       |
| 固定資産圧縮積立金の取崩            |        |        |        |        | △27   | 27     | －         |         | －      |      |       |
| 剰余金の配当                  |        |        |        |        |       | △414   | △414      |         | △414   |      |       |
| 当期純損失                   |        |        |        |        |       | △5,024 | △5,024    |         | △5,024 |      |       |
| 自己株式の取得                 |        |        |        |        |       |        |           | △14     | △14    |      |       |
| 自己株式の処分                 |        |        | 0      | 0      |       |        |           | 0       | 1      |      |       |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） |        |        |        |        |       |        |           |         |        |      |       |
| 当期変動額合計                 | －      | －      | 0      | 0      | △27   | △5,411 | △5,439    | △13     | △5,452 |      |       |
| 当期末残高                   | 33,018 | 27,935 | 1,994  | 29,930 | 3,717 | 7,194  | 10,911    | △1,026  | 72,834 |      |       |

|                         | 評価・換算差額等         |                | 純資産合計  |
|-------------------------|------------------|----------------|--------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | 評価・換算<br>差額等合計 |        |
| 当期首残高                   | 6,678            | 6,678          | 84,964 |
| 当期変動額                   |                  |                |        |
| 固定資産圧縮積立金の取崩            |                  |                | －      |
| 剰余金の配当                  |                  |                | △414   |
| 当期純損失                   |                  |                | △5,024 |
| 自己株式の取得                 |                  |                | △14    |
| 自己株式の処分                 |                  |                | 1      |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額（純額） | 1,713            | 1,713          | 1,713  |
| 当期変動額合計                 | 1,713            | 1,713          | △3,738 |
| 当期末残高                   | 8,392            | 8,392          | 81,226 |

# 監査報告

## 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告

### 独立監査人の監査報告書

2021年4月16日

松竹株式会社  
取締役会 御中

新創監査法人  
東京都中央区  
指定社員  
業務執行社員  
公認会計士 相川高志®  
指定社員  
業務執行社員  
公認会計士 松原寛®

#### 監査意見

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、松竹株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、松竹株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

#### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「連結計算書類の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

#### 連結計算書類に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。連結計算書類を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき連結計算書類を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

#### 連結計算書類の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての連結計算書類に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、連結計算書類の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 連結計算書類の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。
- 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。

- ・ 経営者が継続企業を前提として連結計算書類を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において連結計算書類の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する連結計算書類の注記事項が適切でない場合は、連結計算書類に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 連結計算書類の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた連結計算書類の表示、構成及び内容、並びに連結計算書類が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 連結計算書類に対する意見を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、連結計算書類の監査に関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。  
監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。  
監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

# 計算書類に係る会計監査人の監査報告

## 独立監査人の監査報告書

2021年4月16日

松竹株式会社  
取締役会 御中

新創監査法人  
東京都中央区  
指定社員  
業務執行社員  
公認会計士 相川高志<sup>Ⓔ</sup>  
指定社員  
業務執行社員  
公認会計士 松原 寛<sup>Ⓔ</sup>

### 監査意見

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、松竹株式会社の2020年3月1日から2021年2月28日までの第155期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書（以下「計算書類等」という。）について監査を行った。

当監査法人は、上記の計算書類等が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類等に係る期間の財産及び損益の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 監査意見の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準における当監査法人の責任は、「計算書類等の監査における監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 計算書類等に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類等を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

計算書類等を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき計算書類等を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

### 計算書類等の監査における監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した監査に基づいて、全体としての計算書類等に不正又は誤謬による重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得て、監査報告書において独立の立場から計算書類等に対する意見を表明することにある。虚偽表示は、不正又は誤謬により発生する可能性があり、個別に又は集計すると、計算書類等の利用者の意思決定に影響を与えると合理的に見込まれる場合に、重要性があると判断される。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に従って、監査の過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 不正又は誤謬による重要な虚偽表示リスクを識別し、評価する。また、重要な虚偽表示リスクに対応した監査手続を立案し、実施する。監査手続の選択及び適用は監査人の判断による。さらに、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手する。
- 計算書類等の監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、監査人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、監査に関連する内部統制を検討する。

- ・ 経営者が採用した会計方針及びその適用方法の適切性、並びに経営者によって行われた会計上の見積りの合理性及び関連する注記事項の妥当性を評価する。
- ・ 経営者が継続企業を前提として計算書類等を作成することが適切であるかどうか、また、入手した監査証拠に基づき、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められるかどうか結論付ける。継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、監査報告書において計算書類等の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する計算書類等の注記事項が適切でない場合は、計算書類等に対して除外事項付意見を表明することが求められている。監査人の結論は、監査報告書日までに入手した監査証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 計算書類等の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠しているかどうかとともに、関連する注記事項を含めた計算書類等の表示、構成及び内容、並びに計算書類等が基礎となる取引や会計事象を適正に表示しているかどうかを評価する。
- ・ 計算書類等に対する意見を表明するために、計算書類等に含まれる構成単位の財務情報に関する十分かつ適切な監査証拠を入手する。監査人は、構成単位の財務情報に関する監査の指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査意見に対して責任を負う。監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した監査の範囲とその実施時期、監査の実施過程で識別した内部統制の重要な不備を含む監査上の重要な発見事項、及び監査の基準で求められているその他の事項について報告を行う。監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

#### 強調事項

重要な後発事象に関する注記に記載されているとおり、会社は、2021年3月24日の取締役会において、連結子会社であるK Sビルキャピタル特定目的会社を解散及び清算することを決議している。

当該事項は、当監査法人の意見に影響を及ぼすものではない。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 監査役会の監査報告

## 監 査 報 告 書

当監査役会は、2020年3月1日から2021年2月28日までの第155期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき、審議の結果、監査役全員の一致した意見として、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

- (1) 監査役会は、当事業年度の監査方針、監査計画等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。
- (2) 各監査役は、監査役会が定めた監査役監査基準に準拠し、監査方針、監査計画等に従い、取締役、内部監査部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、以下の方法で監査を実施しました。
  - ① 取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。また、子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。
  - ② 事業報告に記載されている取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社及びその子会社から成る企業集団の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制（内部統制システム）について、監査役会が定めた内部統制システムに係る監査の実施基準に準拠し、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的な報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。
  - ③ 会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書、計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

### 2. 監査の結果

- (1) 事業報告等の監査結果
  - ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
  - ② 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
  - ③ 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果  
会計監査人 新創監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。
- (3) 連結計算書類の監査結果  
会計監査人 新創監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

2021年4月21日

松竹株式会社 監査役会

常勤監査役 田島賢一 ㊞  
常勤監査役 内藤博行 ㊞  
社外監査役 立花貞司 ㊞  
社外監査役 朝比奈豊 ㊞  
社外監査役 井ノ上正男 ㊞

以 上

# 株主総会参考書類

## 第1号議案

## 取締役17名選任の件

取締役17名全員（うち社外取締役2名）は本総会終結の時をもって任期満了となりますので、取締役17名（うち社外取締役3名）の選任をお願いするものであります。

取締役候補者は次のとおりであります。

| 候補者番号 | 氏名                  | 地位・職位   | 候補者属性      | 取締役会出席状況 |
|-------|---------------------|---------|------------|----------|
| 1     | 大谷 信義               | 取締役会長   | 再任         | 10/17回   |
| 2     | 迫本 淳一               | 代表取締役社長 | 再任         | 17/17回   |
| 3     | 武中 雅人               | 専務取締役   | 再任         | 17/17回   |
| 4     | 山根 成之               | 専務取締役   | 再任         | 17/17回   |
| 5     | 岡崎 哲也               | 常務取締役   | 再任         | 17/17回   |
| 6     | 秋元 一孝               | 常務取締役   | 再任         | 17/17回   |
| 7     | 高橋 敏弘               | 常務取締役   | 再任         | 17/17回   |
| 8     | 高橋 和夫               | 取締役相談役  | 再任 社外 独立役員 | 11/13回   |
| 9     | 田中 早苗<br>(本名：菊川 早苗) | 取締役     | 再任 社外 独立役員 | 17/17回   |
| 10    | 西村 幸記               | 取締役     | 再任         | 17/17回   |
| 11    | 井上 貴弘               | 取締役     | 再任         | 17/17回   |
| 12    | 小山 卓                | 取締役     | 再任         | 17/17回   |
| 13    | 船越 直人               | 取締役     | 再任         | 17/17回   |
| 14    | 尾崎 啓成               | 取締役     | 再任         | 13/13回   |
| 15    | 齊藤 久美子              | 取締役     | 再任         | 13/13回   |
| 16    | 小巻 亜矢               | —       | 新任 社外 独立役員 | —        |
| 17    | 黒田 康太               | 執行役員    | 新任         | —        |

候補者番号

1

おお たに のぶ よし  
**大谷 信義**

再任

生年月日

1945年6月18日生

所有する当社株式の数

33,611株

当期における取締役会出席状況

10回／17回 (59%)

## 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1968年6月 当社入社  
1980年5月 当社取締役  
1982年9月 当社常務取締役  
1984年5月 当社専務取締役  
1998年1月 当社代表取締役社長  
2004年5月 当社代表取締役副会長  
2007年2月 当社代表取締役会長  
2019年5月 当社取締役会長（現任）

### <重要な兼職の状況>

・(株)歌舞伎座取締役会長

## 取締役候補者とした理由

1968年当社入社以来、主に映像本部・管理本部に従事し、映像本部長・管理本部長等の職務にあたりました。また、1998年から当社代表取締役社長、2004年から当社代表取締役副会長、2007年から当社代表取締役会長、2019年から当社取締役会長を務める等、企業の経営者としての豊富な経験と、経営に関する高い識見と監督能力を有しております。

候補者番号

2

さこもと じゅんいち  
**迫本 淳一**

再任

生年月日

1953年4月2日生

所有する当社株式の数

8,980株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

### 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1978年4月 松竹映画劇場(株)入社  
1993年4月 弁護士登録（現任）  
三井安田法律事務所入所  
1998年5月 当社代表取締役副社長  
2004年5月 当社代表取締役社長（現任）  
2007年5月 当社事業本部長  
2011年6月 当社映像本部長、映像統括部門担当

### <重要な兼職の状況>

・新橋演舞場(株)代表取締役社長

### 取締役候補者とした理由

1993年弁護士登録、三井安田法律事務所に入所し、法務関連業務に携わって参りました。また、1998年から当社代表取締役副社長に就任し、経営の重要事項の決定および業務執行の監督を担って参りました。さらに、2004年から当社代表取締役社長として経営の指揮を執る等、法務関連での高度な専門的知識並びに経営に関する高い識見と監督能力を有しております。

候補者番号

3

たけ なか まさ と  
**武中 雅人**

再任

生年月日

1957年7月12日生

所有する当社株式の数

1,500株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

### 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1980年4月 当社入社  
1997年4月 当社新橋演舞場支配人（次長待遇）  
2001年5月 当社演劇部演劇営業課長（次長待遇）  
2004年12月 当社演劇部副部長兼演劇営業課長  
2006年8月 当社演劇営業部長  
2007年5月 当社取締役  
事業部門担当、不動産部門担当、歌舞伎座開発準備室長  
2009年5月 当社事業副本部長  
2009年7月 当社歌舞伎座開発準備室担当  
2010年5月 当社歌舞伎座開発推進室担当  
2011年6月 当社事業本部長  
2012年5月 当社常務取締役  
不動産部門担当  
2016年5月 当社専務取締役（現任）  
2019年9月 当社不動産本部長（現任）

### <重要な兼職の状況>

・(株)歌舞伎座代表取締役社長

### 取締役候補者とした理由

1980年当社入社以来、演劇本部に従事し、2007年に当社取締役に就任いたしました。事業部門・不動産部門・歌舞伎座開発推進室の担当および事業本部長を経て、2012年から当社常務取締役、2016年から当社専務取締役、2019年から不動産本部長を務める等、当社における豊富な経験と、歌舞伎・演劇関連、事業・不動産関連の業務に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

4

やまね しげゆき

山根 成之

再任

生年月日

1964年5月9日生

所有する当社株式の数

200株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

### 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 1987年4月 当社入社
- 2009年7月 当社演劇製作部長
- 2011年5月 当社執行役員、関西演劇部担当
- 2012年5月 当社執行役員、演劇製作部担当
- 2014年5月 当社取締役  
演劇副本部長（現任）、演劇製作部歌舞伎製作室担当、  
演劇開発企画部門担当、関西演劇部門担当
- 2016年5月 当社常務取締役
- 2016年12月 当社開発企画部門担当
- 2017年9月 当社演劇統括部門担当（現任）、演劇製作部門（歌舞伎）  
担当
- 2019年5月 当社専務取締役（現任）、演劇興行部門（東京）担当
- 2019年9月 当社歌舞伎製作部門担当（現任）、事業開発本部開発企画  
部門副担当（現任）

### 取締役候補者とした理由

1987年当社入社以来、演劇本部に従事し、2014年に当社取締役に就任、演劇副本部長を務めております。2016年から当社常務取締役、2017年から演劇統括部門の担当を努め、2019年に当社専務取締役に就任、歌舞伎製作部門の担当と開発企画部門の副担当を務める等、当社における豊富な経験と、歌舞伎・演劇関連の業務に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

5

おかざき てつや  
**岡崎 哲也**

再任

生年月日

1961年1月24日生

所有する当社株式の数

300株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

## 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

|         |   |
|---------|---|
| 1984年4月 | 当社入社  |
| 2006年8月 | 当社演劇製作部長  |
| 2009年5月 | 当社執行役員、演劇製作部長   |
| 2009年7月 | 当社執行役員、演劇製作部担当  |
| 2010年5月 | 当社執行役員、演劇開発企画部担当  |
| 2012年5月 | 当社取締役<br>演劇製作部門担当、演劇開発企画部門担当  |
| 2013年1月 | 当社演劇副本部長  |
| 2014年5月 | 当社常務取締役（現任）<br>秘書室担当（現任）、経営企画部グループ企画室担当、オリンピック・パラリンピック・IR事業推進プロジェクトチーム副担当、経営企画部グローバル戦略開発室副担当、演劇本部顧問（現任） |
| 2015年5月 | 当社管理副本部長、地域振興プロジェクトチーム副担当   |
| 2017年5月 | 当社IR（インベスター・リレーションズ）担当（現任）  |
| 2019年5月 | 当社経理部門担当、財務部門担当   |
| 2019年9月 | 当社最高財務責任者（現任）、開発企画部2020企画・IR推進室副担当（現任）  |

## 取締役候補者とした理由

1984年当社入社以来、演劇本部に従事し、2012年に当社取締役に就任、演劇副本部長を経て、2014年に当社常務取締役に就任、演劇本部顧問と秘書室を担当しております。管理副本部長を経て、2017年からIR（インベスター・リレーションズ）担当、2019年から開発企画部2020企画・IR推進室の副担当、最高財務責任者を務める等、当社における豊富な経験と、歌舞伎・演劇関連・グループ関連事業の業務に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

6

あきもと かず たか  
**秋元 一孝**

再任

生年月日

1962年11月23日生

所有する当社株式の数

300株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

## 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 1985年4月 当社入社  
2005年5月 当社映画興行部長  
2008年3月 当社編成部長  
2009年5月 当社執行役員、編成局長  
2010年5月 当社執行役員、編成部担当、映画営業部担当、映画宣伝部担当  
2012年5月 当社取締役  
映像企画部門担当、映像調整部門担当  
2013年5月 当社映画営業部門担当、映画宣伝部門担当  
2014年5月 当社映像副本部長  
2018年5月 当社常務取締役（現任）  
管理副本部長、総務部門担当（現任）  
人事部門担当（現任）、法務室担当（現任）  
2019年9月 当社管理本部長（現任）  
2020年5月 当社西日本統括担当（現任）

## 取締役候補者とした理由

1985年当社入社以来、映像本部に従事し、2012年に当社取締役に就任、映像企画部門・映像調整部門・映画営業部門・映画宣伝部門の担当および映像副本部長を経て、2018年から当社常務取締役、管理副本部長、総務部門・人事部門・法務室を担当し、2019年から管理本部長、2020年から西日本統括担当を務める等、当社における豊富な経験と、映像関連、総務・人事・法務の業務に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

7

たか はし とし ひろ

高橋 敏弘

再任

生年月日

1967年9月26日生

所有する当社株式の数

200株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

## 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 1990年4月 当社入社
- 2008年4月 当社グループ企画室長、経理部（連結決算担当）、  
経営情報企画部経営企画室
- 2011年3月 当社映像統括部長
- 2012年4月 当社映像本部長付部長、映像統括部担当、映像調整部担当
- 2012年5月 当社執行役員
- 2013年5月 当社執行役員、映像統括部担当、映像統括部長、  
映像調整部長
- 2013年6月 当社執行役員、経営情報企画部経営企画室付（統括担当）
- 2014年5月 当社執行役員、映像副本部長、映像企画部担当、映像調整  
部担当、映画営業部担当、映画宣伝部担当、  
メディア事業部担当、経営企画部経営企画室付（統括担当）
- 2015年5月 当社取締役  
映像企画部門担当（現任）、映像調整部門担当（現任）、  
映画営業部門担当、映画宣伝部門担当、メディア事業部門担当
- 2018年5月 当社常務取締役（現任）
- 2018年12月 当社経営企画部グローバル戦略開発室副担当
- 2019年9月 当社事業開発本部開発企画部門副担当（現任）、グローバ  
ル事業部門副担当（現任）
- 2020年5月 当社映像本部長（現任）

## 取締役候補者とした理由

1990年当社入社以来、管理本部・映像本部に従事し、映像副本部長を経て、2015年に当社取締役に就任いたしました。映像企画部門・映像調整部門等を担当し、2018年に当社常務取締役に就任、2019年から開発企画部門・グローバル事業部門の副担当、2020年から映像本部長を務める等、当社における幅広い経験と、会社経営全般および、経理・財務の業務、映像関連の業務に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

8

たか はし かず お  
**高橋 和夫**

再任

社外

独立役員

生年月日

1957年3月1日生

所有する当社株式の数

—

当期における取締役会出席状況

11回／13回 (85%)

## 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 1980年4月 東京急行電鉄(株)（現 東急(株)）入社  
2011年6月 同社取締役  
2011年7月 同社経営管理室長  
2014年4月 同社常務取締役、経営企画室長  
2015年6月 同社取締役、常務執行役員  
2016年4月 同社専務執行役員  
2018年4月 同社代表取締役（現任）、取締役社長（現任）、  
社長執行役員（現任）  
2020年5月 当社社外取締役相談役（現任）

### <重要な兼職の状況>

- ・東急(株)代表取締役社長 社長執行役員
- ・東急電鉄(株)取締役
- ・(株)東急総合研究所取締役会長

## 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

1980年東京急行電鉄(株)（現 東急(株)）入社以来、2011年から同社取締役、経営管理室長、2014年から同社常務取締役、経営企画室長、2015年から同社取締役、常務執行役員、2016年から同社専務執行役員、2018年から同社代表取締役、取締役社長、社長執行役員を務めております。2020年より当社社外取締役相談役に就任しております。長年にわたる企業経営者としての豊富な経験に基づく、経営に対する高い識見と監督能力を有していることから、取締役会に対して有益なご意見やご指摘をいただくことを期待して、社外取締役候補者といたしました。

候補者番号

9

た な か さ な え  
**田中 早苗**  
きくがわ さなえ  
(本名：菊川 早苗)

再任

社外

独立役員

生年月日

1962年7月15日生

所有する当社株式の数

—

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

## 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 1989年4月 弁護士登録（現任）
- 1991年9月 田中早苗法律事務所開設・代表（現任）
- 2006年3月 公益財団法人国際保険振興会理事
- 2011年3月 (株)ノエビアホールディングス社外取締役（現任）
- 2015年3月 (株)パイロットコーポレーション社外取締役（現任）
- 2015年4月 (株)テレビ朝日放送番組審議会副委員長（現任）
- 2015年5月 当社社外取締役（現任）
- 2015年6月 (株)近鉄エクスプレス社外取締役（現任）

## <重要な兼職の状況>

- ・田中早苗法律事務所代表
- ・(株)ノエビアホールディングス社外取締役
- ・(株)パイロットコーポレーション社外取締役
- ・(株)近鉄エクスプレス社外取締役

## 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

1989年弁護士登録、1991年に田中早苗法律事務所を開設して代表を務め、2011年から(株)ノエビアホールディングス、2015年から(株)パイロットコーポレーション、(株)近鉄エクスプレスの社外取締役を兼職しております。同年、当社社外取締役に就任しております。なお、田中早苗氏は社外取締役以外の方法で会社経営に関与したことはありませんが、弁護士および他の企業での社外取締役並びに各種団体の理事等としての豊富な経験と、法務関連での高度な専門的知識並びに幅広い識見と監督能力を有していることから、取締役会に対して有益なご意見やご指摘をいただくことを期待して、社外取締役候補者といたしました。

候補者番号

10

にしむら こうき  
**西村 幸記**

再任

生年月日

1962年8月26日生

所有する当社株式の数

200株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

### 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

|         |   |
|---------|---|
| 1987年6月 | 当社入社                                      |
| 2007年2月 | 当社新橋演舞場支配人                                |
| 2010年5月 | 当社執行役員、演劇興行部長、新橋演舞場支配人                    |
| 2011年5月 | 当社執行役員、関西演劇部担当、演劇興行部担当、演劇興行部長             |
| 2013年6月 | 当社執行役員、演劇興行部担当、演劇興行部長、経営情報企画部経営企画室付（統括担当） |
| 2014年5月 | 当社執行役員、演劇副本部長（現任）、演劇製作部演劇製作室担当、演劇開発企画部担当  |
| 2015年5月 | 当社取締役（現任）<br>演劇製作部演劇製作室担当                 |
| 2015年6月 | 当社関西演劇部門担当                                |
| 2017年5月 | 当社演劇興行部関西演劇室担当                            |
| 2017年9月 | 当社演劇製作部門（一般演劇）担当、演劇興行部門（関西演劇）担当           |
| 2019年9月 | 当社演劇製作部門担当（現任）、演劇興行部門（関西）担当               |
| 2020年5月 | 当社演劇ライセンス部門担当（現任）、演劇営業部門担当（現任）            |

### 取締役候補者とした理由

1987年当社入社以来、演劇本部に従事し、2014年から演劇副本部長を務め、2015年に当社取締役に就任いたしました。演劇製作部演劇製作室・関西演劇部門等の担当を経て、2019年から演劇製作部門、2020年から演劇ライセンス部門・演劇営業部門の担当を務める等、当社における豊富な経験と、会社経営全般および、歌舞伎・演劇関連の業務に関する資質と識見を有しております。

招集  
ご通知

事業  
報告

連結  
計算書類

計算  
書類

監査  
報告

株主  
総会参考  
書類

候補者番号

11

いの うえ たか ひろ

井上 貴弘

再任

生年月日

1968年1月16日生

所有する当社株式の数

100株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

## 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 2005年7月 当社入社
- 2005年10月 当社経営情報企画部経営企画スタッフ（部長）
- 2006年8月 当社経営情報企画部付（インターネット事業部長）
- 2007年3月 当社総務部付松竹芸能(株)出向（取締役副社長）兼 総務部付(株)松竹エンタテインメント出向（取締役副社長）
- 2011年5月 当社執行役員総務部付松竹芸能(株)出向（代表取締役社長）兼 総務部付(株)松竹エンタテインメント出向（代表取締役社長）兼 グループ企画室副担当
- 2014年5月 当社執行役員経営企画部グループ企画室副担当兼 経営企画部付（インターネット事業部長）兼 経営企画部経営企画室付（統括担当）
- 2017年5月 当社取締役（現任）  
事業副本部長、事業部門副担当、不動産部門副担当
- 2018年5月 当社事業部門担当
- 2019年9月 当社事業開発副本部長（現任）、イノベーション推進部門担当（現任）、事業統括部門担当  
イノベーション推進部長（現任）、事業統括部長

## 取締役候補者とした理由

2005年当社入社以来、経営情報企画部（現 経営企画部）に従事し、松竹芸能(株)および(株)松竹エンタテインメントの代表取締役社長を務めて参りました。2017年に当社取締役に就任し、事業副本部長、事業部門・不動産部門の副担当を経て、2018年から事業部門担当を務め、2019年から事業開発副本部長、イノベーション推進部門担当を務める等、当社グループにおける豊富な経験と事業・不動産に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

12

こ やま たく  
小山 卓

再任

生年月日

1963年10月10日生

所有する当社株式の数

100株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

### 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 1987年4月 (株)富士銀行(現 (株)みずほ銀行) 入行  
2006年11月 (株)みずほコーポレート銀行 企業調査部シニアアナリスト  
2011年11月 同行営業第七部副部長  
2013年8月 当社不動産部ゼネラルマネジャー  
2014年5月 当社不動産部長  
2015年5月 当社不動産部長、経営企画部経営企画室付(統括担当)  
2016年5月 当社執行役員、不動産部長、経営企画部経営企画室付(統括担当)  
2018年5月 当社取締役(現任)  
事業副本部長、不動産部門担当  
2019年5月 当社経営企画部経営企画室・グループ企画室・広報室・システム室・おもてなし開発室・業務管理室担当  
経営企画部長(現任)  
2019年9月 当社経営企画部門担当(現任)

### 取締役候補者とした理由

1987年大手金融機関に入行以来、法人営業部門や企業審査部門に従事し、長年にわたり金融業務に携わって参りました。2014年から当社不動産部長を務め、2018年に当社取締役に就任いたしました。事業副本部長、不動産部門担当を経て、2019年から経営企画部門担当を務める等、当社および大手金融機関における豊富な経験と、不動産の業務に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

13

ふなこし なおと  
船越 直人

再任

生年月日

1966年11月9日生

所有する当社株式の数

100株

当期における取締役会出席状況

17回／17回 (100%)

## 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 1991年4月 当社入社
- 2013年3月 当社歌舞伎座支配人
- 2013年6月 当社歌舞伎座支配人、経営情報企画部経営企画室付（統括担当）
- 2014年5月 当社執行役員、演劇興行部担当、歌舞伎座支配人、経営企画部経営企画室付（統括担当）
- 2017年4月 当社執行役員、演劇興行部担当、統括部長、歌舞伎座支配人
- 2017年5月 当社執行役員、演劇興行部担当、統括部長、歌舞伎座支配人、経営企画部経営企画室付（統括担当）
- 2017年7月 当社執行役員、演劇興行部担当、統括部長、演劇製作部歌舞伎製作室副担当
- 2017年10月 当社執行役員、演劇統括部長（現任）、演劇総務室長、演劇広報室長（現任）
- 2018年11月 当社執行役員、演劇営業部担当
- 2019年5月 当社取締役（現任）  
演劇営業部門担当、演劇製作部門（歌舞伎）副担当
- 2019年9月 当社演劇ライツ部門担当、歌舞伎製作部門副担当
- 2020年5月 当社演劇興行部門担当（現任）

## 取締役候補者とした理由

1991年に当社入社以来、演劇本部に従事し、演劇興行部担当や歌舞伎座支配人を務めて参りました。演劇製作部歌舞伎製作室副担当や演劇営業部門担当を経て、2019年に当社取締役就任、2020年から演劇興行部門担当を務める等、当社における豊富な経験と、歌舞伎・演劇関連の業務に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

14

お さ き ひ ろ し げ  
尾崎 啓成

再任

生年月日

1970年9月9日生

所有する当社株式の数

100株

当期における取締役会出席状況

13回／13回 (100%)

### 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

1994年4月 当社入社  
2014年5月 当社経理部長  
2015年5月 当社執行役員  
2017年5月 当社執行役員、IR（インベスター・リレーションズ）  
副担当（現任）  
2019年5月 当社執行役員、財務部長  
2020年5月 当社取締役（現任）  
経理部門担当（現任）、財務部門担当（現任）

### <重要な兼職の状況>

・(株)歌舞伎座社外取締役

### 取締役候補者とした理由

1994年に当社入社以来、映像本部・管理本部に従事し、2014年から経理部長を務めて参りました。2017年からIR（インベスター・リレーションズ）副担当、2019年から財務部長を務め、2020年に当社取締役に就任し、経理部門・財務部門を担当する等、当社における豊富な経験と、経理・財務の業務に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

15

さいとう くみこ  
齊藤 久美子

再任

生年月日

1968年8月18日生

所有する当社株式の数

100株

当期における取締役会出席状況

13回／13回 (100%)

#### 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 1989年3月 当社入社  
2016年3月 当社映像統括部長（現任）、経営企画部経営企画室付（統括担当）  
2018年5月 当社執行役員  
2019年9月 当社執行役員、事業統括部門副担当  
2020年5月 当社取締役（現任）  
映像統括部門担当（現任）、映像素材管理スタッフ担当（現任）

#### 取締役候補者とした理由

1989年に当社入社以来、映像本部に従事し、2016年から映像統括部長を務め、事業統括部門副担当を経て、2020年に当社取締役に就任し、映像統括部門・映像素材管理スタッフ担当を務める等、当社における豊富な経験と、映像関連の業務に関する資質と識見を有しております。

候補者番号

16

こ ま き あ や  
小巻 亜矢

新任

社外

独立役員

生年月日

1959年8月16日生

所有する当社株式の数

—

### 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

- 1983年4月 (株)サンリオ入社
- 2014年6月 (株)サンリオエンターテイメント顧問
- 2015年6月 同社取締役
- 2016年7月 サンリオピューロランド館長（現任）
- 2019年6月 (株)サンリオエンターテイメント代表取締役社長（現任）

#### <重要な兼職の状況>

- ・(株)サンリオエンターテイメント代表取締役社長
- ・サンリオピューロランド館長

### 社外取締役候補者とした理由および期待される役割

1983年(株)サンリオ入社以来、2015年から(株)サンリオエンターテイメント取締役、2016年からサンリオピューロランド館長、2019年から(株)サンリオエンターテイメント代表取締役社長を務めております。会社経営者としての経験と、エンターテイメント業界における深い見識を有していることから、取締役会に対して有益なご意見やご指摘をいただくことを期待して、社外取締役候補者といたしました。

候補者番号

17

くろ だ こう た  
黒田 康太

新任

生年月日

1971年11月23日生

所有する当社株式の数

—

## 略歴、当社における地位、担当（重要な兼職の状況）

2004年9月 当社入社  
2014年5月 当社映像調整部長  
2016年5月 当社執行役員（現任）  
2020年5月 当社執行役員、アニメ事業部長（現任）、アニメ宣伝室長（現任）

## 取締役候補者とした理由

2004年に当社入社以来、経営企画部・映像本部に従事し、2014年から映像調整部長を務め、2016年に執行役員に就任いたしました。2020年からアニメ事業部長を務める等、当社における豊富な経験と、映像関連の業務に関する資質と識見を有しております。

- (注) 1. (1) 取締役候補者の大谷信義氏が取締役会長を兼務している(株)歌舞伎座は、当社と不動産の賃貸借取引があります。  
(2) 取締役候補者の迫本淳一氏が代表取締役社長を兼務している新橋演舞場(株)は、当社と劇場の賃貸借取引があります。  
(3) 取締役候補者の武中雅人氏が代表取締役社長を兼務している(株)歌舞伎座は、当社と不動産の賃貸借取引があります。  
(4) 取締役候補者の尾崎啓成氏が社外取締役を兼務している(株)歌舞伎座は、当社と不動産の賃貸借取引があります。
2. 他の取締役候補者と当社との間には特別の利害関係はありません。
3. 高橋和夫氏、田中早苗氏および小巻亜矢氏は社外取締役候補者であります。高橋和夫氏および田中早苗氏は現在、当社の社外取締役であります。両氏の社外取締役としての在任期間は本総会終結の時をもって、高橋和夫氏は1年、田中早苗氏は6年となります。
4. 高橋和夫氏、田中早苗氏の再任および小巻亜矢氏の選任が承認された場合には、当社は会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第425条第1項に規定する最低責任限度額を限度とする責任限定契約を高橋和夫氏および田中早苗氏と継続し、小巻亜矢氏と締結する予定であります。
5. 当社は、全ての取締役を被保険者とする会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、被保険者が負担することとなる法律上の損害賠償金や争訟費用等が填補されることとなり、被保険者の全ての保険料を当社が全額負担しておりますが、各候補者が取締役になされた場合、各氏は当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。なお、当社は、当該保険契約を任期途中に同様の内容で更新することを予定しております。
6. 当社は、高橋和夫氏および田中早苗氏を東京証券取引所・札幌証券取引所・福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。高橋和夫氏、田中早苗氏の再任および小巻亜矢氏の選任が承認された場合には、当社は3氏を独立役員とする予定です。

## 第2号議案

## 監査役1名選任の件

監査役朝比奈豊氏は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、監査役1名の選任をお願いするものであります。

なお、本議案に関しましては、監査役会の同意を得ております。  
監査役候補者は次のとおりであります。

あ さ ひ な ゆ た か  
**朝比奈 豊**

### 略歴、当社における地位（重要な兼職の状況）

|         |  |
|---------|--|
| 1971年7月 | (株)毎日新聞社入社                                     |
| 2004年6月 | 同社取締役社長室長                                      |
| 2006年6月 | 同社常務取締役  |
| 2008年6月 | 同社代表取締役社長                                      |
| 2011年4月 | 毎日・スポニチ持株移行(株) (現 (株)毎日新聞グループホールディングス) 代表取締役社長 |
| 2016年6月 | (株)毎日新聞社代表取締役会長                                |
| 2017年5月 | 当社社外監査役（現任）                                    |
| 2020年6月 | (株)毎日新聞グループホールディングス相談役（現任）                     |
| 2020年6月 | (株)毎日新聞社相談役（現任）                                |

再任

社外

独立役員

生年月日

1947年9月14日生

所有する当社株式の数

—

当期における取締役会出席状況

16回／17回（94%）

当期における監査役会出席状況

9回／10回（90%）

### <重要な兼職の状況>

- ・(株)毎日新聞グループホールディングス相談役
- ・(株)毎日新聞社相談役

### 社外監査役候補者とした理由

1971年(株)毎日新聞入社以来、2004年から同社取締役社長室長、2006年から同社常務取締役、2008年から同社代表取締役社長、2016年から同社代表取締役会長、2020年より同社相談役を務め、また、2011年から(株)毎日新聞グループホールディングス代表取締役社長、2020年から同社相談役を兼職しております。なお、2017年から当社社外監査役を務めており、長年にわたる企業経営者としての豊富な経験に基づく、経営に対する高い識見と監督能力を有しております。

- 
- (注) 1. 朝比奈豊氏は、社外監査役候補者であります。
2. 朝比奈豊氏と当社との間には特別の利害関係はありません。
3. 朝比奈豊氏は、現在当社の社外監査役であります。監査役としての在任期間は本総会終結の時をもって、4年となります。
4. 朝比奈豊氏の再任が承認された場合には、当社は会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第425条第1項に規定する最低責任限度額を限度とする責任限定契約を継続する予定であります。
5. 当社は、全ての監査役を被保険者とする会社法第430条の3第1項に規定する役員等賠償責任保険契約を保険会社との間で締結しております。当該保険契約では、被保険者が負担することとなる法律上の損害賠償金や争訟費用等が填補されることとなり、被保険者の全ての保険料を当社が全額負担しておりますが、朝比奈豊氏が監査役に就任した場合、同氏は当該保険契約の被保険者に含まれることとなります。なお、当社は、当該保険契約を任期途中に同様の内容で更新することを予定しております。
6. 当社は、朝比奈豊氏を東京証券取引所・札幌証券取引所・福岡証券取引所の定めに基づく独立役員として届け出ております。同氏の再任が承認された場合には、当社は引き続き同氏を独立役員とする予定です。

## 第3号議案

## 退任取締役に対し退職慰労金贈呈の件

取締役安孫子正氏および細田光人氏は、本総会終結の時をもって任期満了により退任されますので、在任中の功労に報いるため、当社所定の基準に従い、安孫子正氏に9,900万円、細田光人氏に7,400万円の退職慰労金を贈呈いたしたいと存じます。

なお、退職慰労金の贈呈時期、方法等につきましては、取締役会にご一任願いたいと存じます。退任取締役の略歴は次のとおりであります。

| 氏名   | 略歴  |
|------|---|
| 安孫子正 | 1999年5月 当社取締役<br>2003年5月 当社常務取締役<br>2004年11月 当社専務取締役<br>2006年5月 当社演劇本部長（現任）<br>2014年5月 当社取締役副社長<br>2019年5月 当社代表取締役副社長（現任）                     |
| 細田光人 | 2007年5月 当社取締役<br>2009年5月 当社常務取締役<br>2009年5月 当社管理本部長<br>2012年5月 当社専務取締役<br>2015年5月 当社取締役副社長<br>2019年5月 当社代表取締役副社長（現任）<br>2019年9月 当社事業開発本部長（現任） |

以上

## 株主総会会場ご案内図

会場

東劇ビル内 東劇

東京都中央区築地4丁目1番1号 TEL 03 (5550) 1533 (総務部総務室)

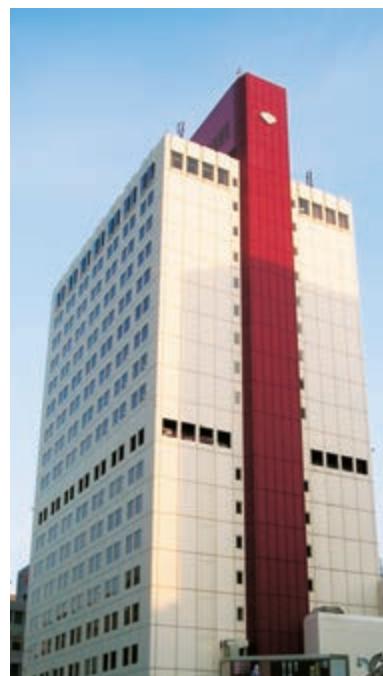
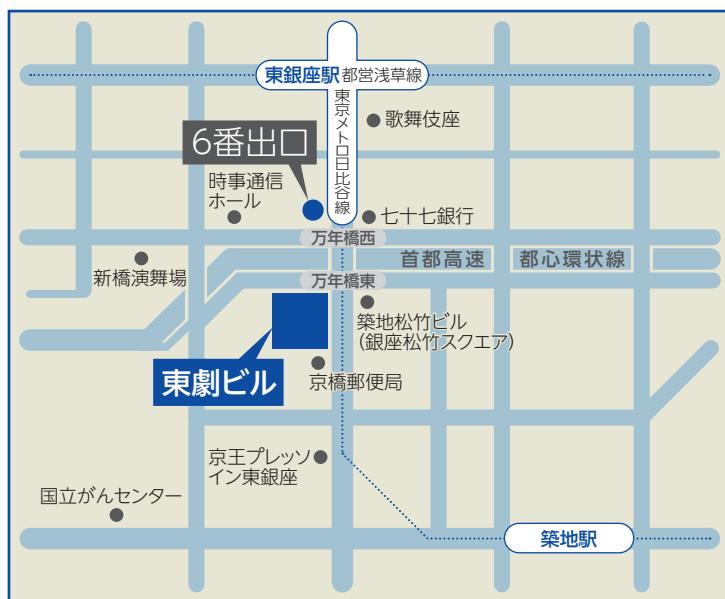
開催日時

2021年5月25日(火曜日) 午前10時(受付開始:午前9時15分)

交通機関  
のご案内

■東京メトロ日比谷線 東銀座駅6番出口徒歩1分

■都営地下鉄浅草線 東銀座駅6番出口徒歩1分



お願い

駐車場のご用意はございませんので、公共交通手段をご利用くださいますよう、  
お願い申し上げます。



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。